

令和7年度第3回伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会

配付資料

- 令和7年度 伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会委員名簿 P 1
- 【資料1】令和7年度第2回伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会の概要 P 2

再掲資料

～～～第2回伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会 配付資料～～～

- 【再掲資料1】県立高等学校(全日制)の学級数の状況 P 4
- 【再掲資料2】伊勢志摩地域の県立高等学校(全日制)の学級数の推移(H23～R8) P 5
- 【再掲資料3】県立高等学校(全日制)の学科の配置状況(令和8年度) P 6
- 【再掲資料4】学校施設の老朽化の状況 P 7

～～～第1回伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会 配付資料～～～

- 【再掲資料5】伊勢志摩地域の県立高等学校(全日制)の入学者選抜の状況 P 8
- 【再掲資料6】伊勢志摩地域 中学校卒業者数の推移と予測(含社会増減) P 10
- 【再掲資料7】伊勢志摩地域の中学校卒業者数と
県立高等学校入学定員(全日制)の推移と予測 P 11

- 【再掲資料8】伊勢志摩地域および松阪地域の
高等学校等の学科・コースについて(令和8年度) P 12

- 【再掲資料9】伊勢志摩地域の県立高校に関するアンケート結果について P 13
- 【再掲資料10】令和5年度の協議(今後の学びと配置のあり方について) P 18

- 【再掲資料11】次期「県立高等学校活性化計画」の策定に向けた動きについて P 21

- 【再掲資料12】市町別の中学校卒業者進学先の状況 P 22

- 【再掲資料13】伊勢志摩地域の県立高等学校(全日制)の交通手段等 P 23

- 【再掲資料14】伊勢志摩地域の県立高等学校(全日制)のスクールポリシー P 25

- 【再掲資料15】伊勢志摩地域の県立高校(全日制)卒業生の進路状況 P 30

- 【再掲資料16】学校規模と教育環境について P 31

- 【再掲資料17】これまでの県立高等学校(全日制)の再編について P 33

- 【再掲資料18】令和22年度までの伊勢志摩地域の
県立高等学校(全日制)の総学級数と当協議会の協議について P 34

令和7年度 伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会委員 名簿

No		所属及び名前	本年度出席委員
1	学識経験者	三重大学 教育学部 教授 田中 伸明	○
2	地域有識者	伊勢商工会議所 常務理事 中本 龍二	○
3		鳥羽商工会議所 専務理事 矢野 次男	○
4		志摩市商工会 常務理事 西尾 新	○
5		度会町商工会 事務局長 山本 雄紀	○
6		伊勢市教育委員会 教育長 小林 貴法	○
7	市町教育委員会 教育長	鳥羽市教育委員会 教育長 岩本 和也	○
8		志摩市教育委員会 教育長 舟戸 宏一	○
9		度会町教育委員会 教育長 中村 武弘	○
10		南伊勢町教育委員会 教育長 劍山 成実	○
11	県立高等学校長代表	県立伊勢工業高等学校 校長 奥山 敦弘	○
12	小中学校長代表	伊勢市立二見中学校 校長 中西 祐一	—
13		鳥羽市立鳥羽東中学校 校長 山下 幸也	○
14		志摩市立磯部中学校 校長 助田 宏樹	—
15		大紀町立大宮中学校 校長 作野 順也	○
16	小中学校 P T A 代表	伊勢市P T A連合会 代表 西城 宏樹	○
17		鳥羽市P T A連合会 代表 東谷 俊介	○
18		志摩市P T A連合会 代表 西世古 真一	○
19		度会郡P T A連絡協議会 代表 山上 美穂	○
20	高等学校P T A代表	南勢地区高等学校P T A連合会 代表 尾崎 佳奈	○
21	小中学校教職員代表	伊勢市立修道小学校 教諭 黒坂 泰之	○
22		大紀町立大宮中学校 教諭 糸川 明道	○
23	高等学校教職員代表	県立伊勢まなび高等学校 教諭 大西 孝明	○

令和 7 年度第 2 回伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会の概要

1 日時 令和 7 年 9 月 29 日（月）19 時 00 分から 21 時 00 分まで

2 場所 県伊勢庁舎 402 会議室

3 概要

これまでの協議をふまえ、15 年先の学びと配置のあり方や令和 10 年度に想定される当地域の県立高校の学級減への具体的な対応を含む「令和 7 年度伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会のまとめ」の策定に向け、協議しました。

主な意見は次のとおりです。

(学びのあり方について)

- 15 年先を見据えた県立高校のあり方を考える上で、私立高校側と何らかの協議は行われているのか。（舟戸委員）

⇒ (事務局) 公立高校と私立高校の翌年度の募集定員総数については、三重県公私立高等学校協議会で年度ごとに協議しているが、長期的な定員計画についての具体的な協議は行われていない。
- 現在の学級編制基準と教員配置基準であれば、15 年先には 3 校程度との結論となるのだろうが、全国的に生徒数が激減している状況と、現在の基準が合わなくなってきたいると感じる。現在行われている国の動きに注視していく必要があるのではないか。（清水委員）
- 出生数の減少をふまえると、15 年先に 3 校程度となることは理解できるし、致し方ないことだと思う。一方で、人口増につながれば、地域の活性化にもつながるという観点から、地域の子どもたちだけでなく県外を含む他地域からの入学者が増えるような魅力ある高校づくりをしていくことも追記いただきたい。（西尾委員）
- 3 校程度への集約は、これ以上少なくなることはないという最低限の数字として理解している。今後、「学びと配置のあり方の方針」に記載された要件が 3 校程度で実現できるかという議論が必要になる。（舟戸委員）
- 地域経済の観点から、地域に学校があることは移住や子育て世代の I ターン U ターンの促進にとって、大きな意味がある。そうしたことから、子どもの学びが一番であるが、子どもが生活する地域の視点を加えてほしい。（山本委員）
- 1 学年 1 学級規模では、仮に人間関係がこじれてもクラス替えができず修復が難しい。加えて、学校行事や部活動など集団で活動することに制約が生じるなどの課題も多い。また、教員配置数も少なくなる中、どの学校にもある一定の校務を少人数で担う必要があり、働き方の観点からも、1 学級規模は厳しい状況である。（奥山委員）
- 志摩高校の存続を望むものの、今後の生徒数の減少を見通すと非常に厳しいのが現実である。苦渋の選択として募集停止とするのであれば、水産高校において普通科に準ずる学びを保障してもらいたい。（舟戸委員）

- 義務教育である小中学校は、地域に根差した教育の場として、小規模でもよいと考える。しかし、高校では社会とのつながりや交友関係を広げるためにも、少人数で地域に留まるのではなく、都市部に出ていくことも必要ではないか。（西尾委員）

(配置のあり方について)

- 度会町では、長年にわたり南伊勢高校度会校舎の活性化や存続に向けた支援をしてきた。小規模校だからこそ生き生きと高校生活を送っている生徒も多いことから、公立の役割として採算性を求めずに、地域の核である学校を存続させてほしい。（中村委員）
- 「学びと配置のあり方の方針」については、今後の私立高校の授業料無償化の影響に加え、入学定員の動きについても影響があると考えられるので、方針の一つに追記してはどうか。また、私立高校の関係者を加え、協議会で議論していきたい。（剣山委員）
- 「15年先の学びと配置のイメージ」については、提示された3校程度とする案だけでは意見交換が難しいため、メリット・デメリットを提示したうえで、複数案による議論が必要ではないか。（西城委員）
- これまでの15年間は、再編を避けて学級減で対応してきたことで、県内の高校が一斉に小規模化してしまった。高校時代は、多様な経験や人との出会いにより心身を育てる重要な時期であることを考えると、もはや地域の高校の小規模化は限界に達している。対応を先延ばしにしてきた県教委の責任も大きい。（奥山委員）
- 15年先までのグランドデザインについては、新たなワーキンググループを設置するなどして議論し、学校の配置だけでなく、学習内容の変化や入試制度の改革なども含めた方向性を示していく必要があるのではないか。（中村委員）
- 南伊勢高校度会校舎と志摩高校が募集停止となった場合、南伊勢町の子どもたちにとって、普通科の選択肢に大きな影響がでることになる。志摩高校は旧南勢町から通いやすい位置にあるので、水産高校志摩校舎として残す案も検討してほしい。（剣山委員）
- 専門高校からも大学等へ進学しており、大学進学のニーズに応える高校を普通科高校に限定して表記するはどうかと考える。また、2校の募集停止案は、これまで度会町が支援してきた経緯をふまえると、非常につらい。（中村委員）
- 小規模校や総合学科のあり方については、どのように存続させるかという視点での議論が大切ではないか。また、地域で3校程度となると、伊勢市内に集約されることになり、通学が困難な子どもたちが増えるのではないかと危惧している。近い範囲に高校が存在することも子どもたちにとっては大事なことである。（岩本委員）

県立高等学校(全日制)の学級数の状況

再掲資料 1

(1)平成23年度

地域名	入学定員 (H23卒業見込者数)	40人ベースの学級数									学校数	
		1学級	2学級	3学級	4学級	5学級	6学級	7学級	8学級	9学級		
桑名	1,400 (2,229)				桑名工業(工)		桑名北(普)			桑名西(普) いなべ総合学園 (総)	桑名(普・看・理)	5校 (35学級)
四日市	3,080 (3,762)				菰野(普)		朝明(普) 四日市農芸 (農・家) 四日市中央工業 (工)	四日市四郷(普) 四日市商業(商)	川越(普・外) 四日市南(普) 四日市西(普) 四日市工業(工)	四日市(普)	11校 (77学級)	
鈴鹿龜山	1,440 (2,456)				飯野(外・他)	石薬師(普)	稻生(普・体) 龜山(普・家・情)	白子(普・家)	神戸(普・理)		6校 (36学級)	
津	2,160 (2,987)			白山(普・商)		津工業(工)	久居農林(農・家)	津商業(商) 久居(普)	津東(普)	津(普) 津西(普・他)	8校 (54学級)	
松阪	1,200 (1,962)		飯南(総) 昂学園(総)			松阪商業(商・他)	松阪工業(工)	相可(普・農・家)	松阪(普・理)		6校 (30学級)	
伊勢志摩	1,705 (2,704)			南伊勢(普) 志摩(普) 水産(水)	鳥羽(総)	伊勢工業(工) 宇治山田商業(商) 明野(農・家・福)		宇治山田(普)	伊勢(普)		9校 (43学級)	
伊賀	1,320 (1,742)		あけぼの学園(総)			名張(総)	名張桔梗丘(普) 名張西(普・工・外)	上野(普・理) 伊賀白鳳 (農・工・商・福)			6校 (33学級)	
東紀州	360 (447)			紀南(普)			木本(普・総)	尾鷲(普・工・商)			3校 (16学級)	
学校数	0校 (0学級)	3校 (6学級)	5校 (15学級)	4校 (16学級)	7校 (35学級)	11校 (66学級)	10校 (70学級)	10校 (80学級)	4校 (36学級)	54校 (324学級)		

【備考】

○ 学科名略称:(普)普通科(普通科におけるコース制を含む)、専門学科[(農)農業、(工)工業、(商)商業、(水)水産、(家)家庭、(看)看護、(情)情報、(福)福祉、(理)理数、(体)体育、(外)外国語、(他)その他専門学科(国際科学、国際教養、応用デザイン)]、(総)総合学科

○ 校舎制の南伊勢高校は、南勢校舎2学級・度会校舎1学級となっています。

○ 1学級40人ベースの学級数を記載していますが、30人・35人学級の実施により水産高校は3学級105人として募集しています。



(2)令和8年度

地域名	入学定員 (R8.3卒業見込者数)	40人ベースの学級数									学校数
		1学級	2学級	3学級	4学級	5学級	6学級	7学級	8学級	9学級	
桑名	1,160 (1,924)				桑名北(普) 桑名工業(工)		桑名西(普)	いなべ総合学園 (総)	桑名(普・看・理)		5校 (29学級)
四日市	2,480 (3,440)			朝明(普・福)	四日市四郷(普) 菰野(普)	四日市西(普) 四日市農芸 (農・家) 四日市中央工業 (工)	四日市商業(商)	川越(普・他) 四日市工業(工)	四日市(普) 四日市南(普)		11校 (62学級)
鈴鹿龜山	1,120 (2,258)		石薬師(普)		稻生(普・体) 飯野(外・他)	龜山(普・家・情)	白子(普・家)	神戸(普・理)			6校 (28学級)
津	1,840 (2,552)		白山(普・商)		久居(普)		津東(普) 津工業(工) 津商業(商) 久居農林(農・家)		津(普) 津西(普・他)		8校 (46学級)
松阪	1,000 (1,810)		飯南(総) 昂学園(総)		松阪商業(商)	松阪工業(工) 相可(普・農・家)		松阪(普・理)			6校 (25学級)
伊勢志摩	1,120 (1,718)	南伊勢 度会校舎(普) 鳥羽(総) 志摩(普)	水産(水)		宇治山田(普) 伊勢工業(工) 宇治山田商業(商) 明野(農・家・福)			伊勢(普)			9校 (28学級)
伊賀	920 (1,368)	あけぼの学園(総)				名張青峰(普) 名張(総)	上野(普・理) 伊賀白鳳 (農・工・商・福)				5校 (23学級)
東紀州	360 (447)				尾鷲(普・工・商)	熊野青藍 木本校舎(普・総) 紀南校舎(総)					2校 (9学級)
学校数	4校 (4学級)	5校 (10学級)	1校 (3学級)	13校 (52学級)	9校 (45学級)	9校 (54学級)	6校 (42学級)	5校 (40学級)	0校 (0学級)	52校 (250学級)	

【備考】

○ 学科名略称:(普)普通科(普通科におけるコース制、学際領域学科など普通教育を主とする学科を含む)、専門学科[(農)農業、(工)工業、(商)商業、(水)水産、(家)家庭、(看)看護、(情)情報、(福)福祉、(理)理数、(体)体育、(外)外国語、(他)その他専門学科(国際探究、国際科学、応用デザイン)]、(総)総合学科

○ 校舎制の熊野青藍高校は、木本校舎4学級・紀南校舎1学級となっています。

○ 1学級40人ベースの学級数を記載していますが、30人・35人学級の実施により伊賀白鳳高校は7学級240人、尾鷲高校は5学級160人として募集しています。

伊勢志摩地域の県立高等学校（全日制）の学級数の推移（H23～R8）

再掲資料2

(1) 伊勢志摩地域の学級数の推移

校名・学科	年度										R5	R6	R7	R8	R8/H23
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2					
普通科・普通科系専門学科	21	21	21	20	20	19	17	16	16	16	14	14	14	13	61.9%
職業系専門学科	18	19	18	17	17	16	15	14	14	15	14	14	14	14	77.8%
総合学科	4	4	3	3	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	25.0%
学級数合計	43	44	42	42	40	39	38	36	34	32	33	29	29	28	65.1%
前年度比（増減）			△1	▼2	▼2	▼1	▼1	▼2	▼2	△1	▼4			▼1	▼15
明野（農業・家庭・福祉）	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	80.0%
宇治山田（普通）	7	7	7	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	4	57.1%
伊勢（普通・その他）	8	8	8	8	8	8	8	7	7	7	7	7	7	7	87.5%
宇治山田商業（商業）	5	6	5	5	5	5	5	5	5	4	4	5	4	4	80.0%
伊勢工業（工業）	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	80.0%
南伊勢（普通）	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	1	1	33.3%
鳥羽（総合）	4	4	3	3	3	2	2	2	2	2	2	1	1	1	25.0%
志摩（普通）	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	1	1	33.3%
水産（水産）	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	66.7%

(2) 三重県の学級数の推移

学科（地域の高校）	年度										R5	R6	R7	R8	R8/H23
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2					
普通科・普通科系専門学科	200	201	204	193	195	189	188	177	173	164	166	159	156	150	145
職業系専門学科	97	99	98	99	98	96	96	95	93	91	86	87	88	87	89.7%
総合学科	27	27	25	24	24	23	23	23	21	21	21	21	20	21	20
学級数合計	324	327	324	327	315	315	308	306	293	285	271	274	268	263	258
前年度比（増減）		△3	▼3	△3	▼12	▼7	▼2	▼13	▼8	▼14	△3	▼6	▼5	▼5	▼72
普通（宇治山田・伊勢・南伊勢・志摩）	182	183	186	175	178	172	171	160	156	147	150	144	141	135	130
農業（明野）	15	15	15	15	15	15	15	15	14	14	13	13	13	13	86.7%
工業（伊勢工業）	39	40	40	40	40	39	39	38	38	37	35	35	35	35	89.7%
商業（宇治山田商業）	27	28	26	27	26	26	26	25	24	22	23	24	23	23	85.2%
水産（水産）	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	66.7%
家庭（明野）	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	100%
看護	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	100%
情報	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	100%
福祉（明野）	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	150%
理科	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	7
体育	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	50.0%
英語	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	2	40.0%
その他（伊勢）	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	5	5
総合学科（鳥羽）	27	27	25	24	24	23	23	21	21	21	20	21	20	21	74.1%

※伊賀白鳳高校と尾鷲高校は、開設学科数で計上

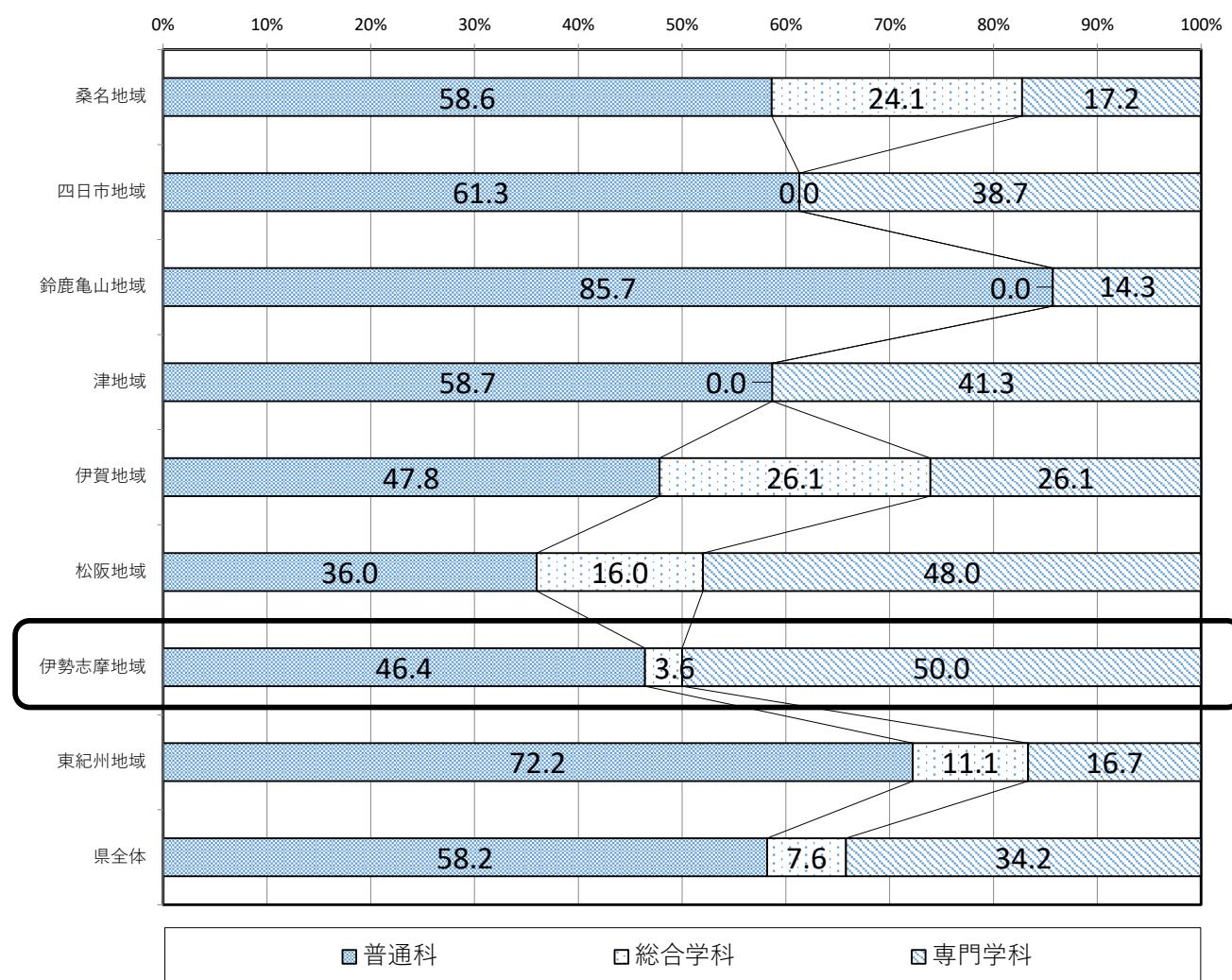
県立高等学校（全日制）の学科の配置状況（令和8年度）

再掲資料3

1 普通科、専門教育を主とする学科、総合学科の定員

	定員	普通科	総合学科	専門教育を主とする学科								計
				農業	工業	商業	水産	家庭	看護	情報	福祉	
桑名	1,160	680	280		160				40			200
		58.6%	24.1%		13.8%				3.4%			17.2%
四日市	2,480	1,520		120	480	240		80		40	960	
		61.3%		4.8%	19.4%	9.7%		3.2%		1.6%	38.7%	
鈴鹿亀山	1,120	960						80		80	160	
		85.7%						7.1%		7.1%	14.3%	
津	1,840	1,080		160	240	280		80			760	
		58.7%		8.7%	13.0%	15.2%		4.3%			41.3%	
松阪	1,000	360	160	80	200	160		40			480	
		36.0%	16.0%	8.0%	20.0%	16.0%		4.0%			48.0%	
伊勢志摩	1,120	520	40	80	160	160	80	40		40	560	
		46.4%	3.6%	7.1%	14.3%	14.3%	7.1%	3.6%		3.6%	50.0%	
伊賀	920	440	240	70	105	30				35	240	
		47.8%	26.1%	7.6%	11.4%	3.3%				3.8%	26.1%	
東紀州	360	260	40		30	30					60	
		72.2%	11.1%		8.3%	8.3%					16.7%	
県全体	10,000	5,820	760	510	1,375	900	80	320	40	80	115	3,420
		58.2%	7.6%	5.1%	13.8%	9.0%	0.8%	3.2%	0.4%	0.8%	1.2%	34.2%

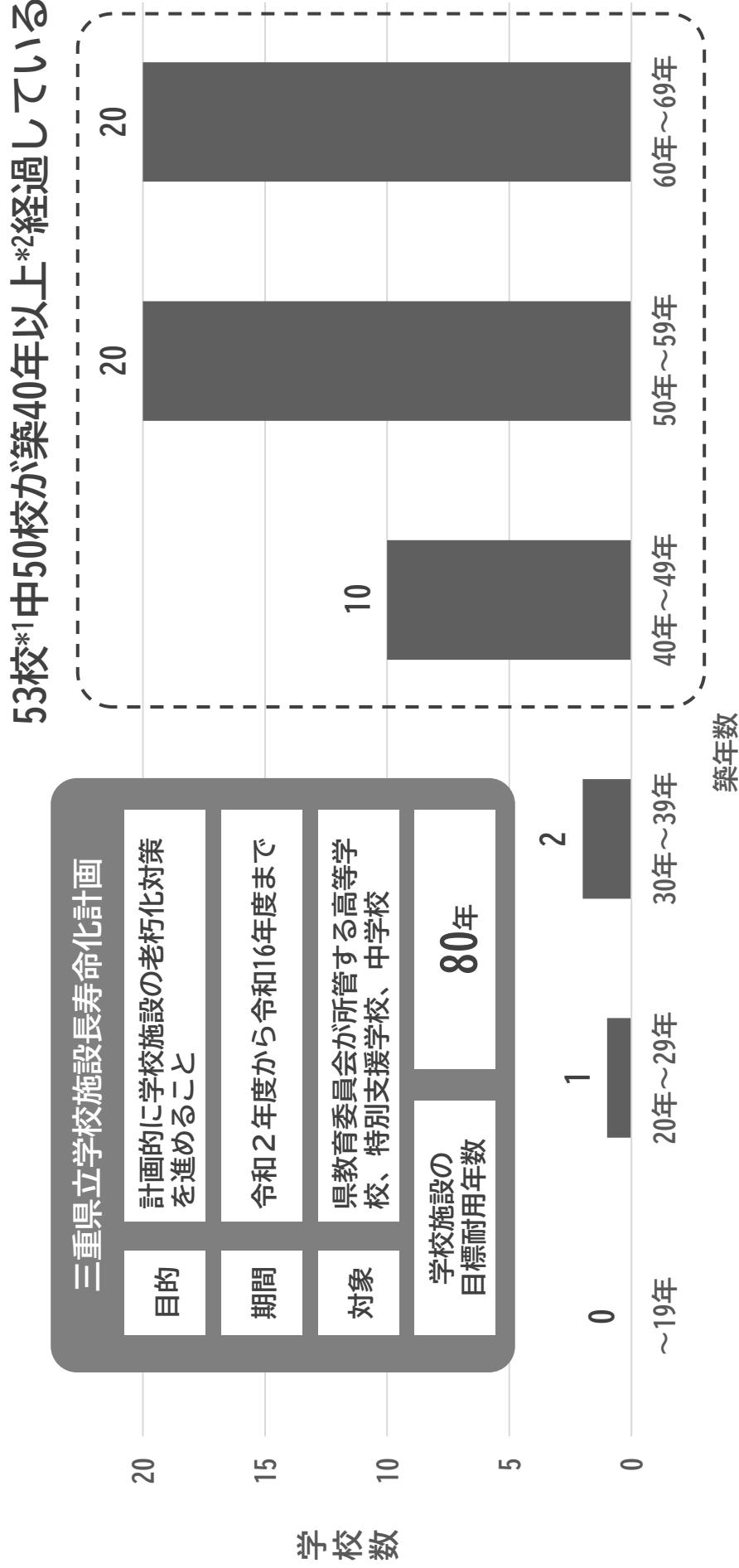
※普通科には普通科系専門学科を含む



再掲資料 4

(三重県教育改革推進会議 令和7年度第2回県立高等学校の在り方調査研究部会 (R7.9.4) 「論点に関する補足説明資料」より)

学校施設 学校施設の老朽化の状況



伊勢志摩地域の県立高等学校(全日制)の入学者選抜の状況
1 令和7年3月卒・現高1
(1) 全日制

学校名	学科・コース	入学定員	R6.12時点の進学希望者数			前期選抜等			後期選抜			再募集					
			定員との差	募集人数	志願者数	志願倍率	合格内定者数	募集入数	志願者数	志願倍率	合格者数	募集定員	志願者数	合格者数	入学者数	欠員	
明 野	生産科学	40	46	6	20	47	2.35	22	18	1.00	18	0	0	0	40	0	
	食品科学	40	38	▲ 2	20	34	1.70	22	18	0.89	18	0	0	0	40	0	
	生活教養福祉	40	51	11	20	50	2.50	22	18	1.28	18	0	0	0	40	0	
計		160	168	8	80	164	2.05	88	72	74	1.03	71	1	2	1	40	0
宇治山田	普通	200	201	1	60	178	2.97	66	134	1.42	1.06	134	0	0	0	200	0
	国際科学コース	240	224	▲ 16	—	—	—	—	240	212	0.88	240	0	0	0	240	0
伊 勢	国際科学コース	40	61	21	—	—	—	—	40	73	1.83	40	0	0	0	40	0
	計	280	285	5	—	—	—	—	280	285	1.02	280	0	0	0	280	0
	商業	80	102	22	40	93	2.33	44	36	43	1.19	36	0	0	0	80	0
宇治山田商業	情報処理	40	38	▲ 2	20	38	1.90	22	18	1.00	18	0	0	0	40	0	
	国際	40	38	▲ 2	20	34	1.70	22	18	0.89	18	0	0	0	40	0	
	計	160	178	18	80	165	2.06	88	72	77	1.07	72	0	0	0	160	0
伊勢工業	機械	80	80	0	40	76	1.90	44	36	39	1.08	36	0	0	0	80	0
	電気	40	37	▲ 3	20	36	1.80	22	18	1.08	17	0.94	18	0	0	80	0
	建築	40	39	▲ 1	20	39	1.95	22	18	0.78	14	0.78	14	4	4	40	0
南伊勢(度会校舎)	普通	40	35	▲ 5	20	34	1.70	22	18	1.00	10	0.56	10	8	3	35	▲ 5
	計	40	35	▲ 5	20	34	1.70	22	18	10	0.56	10	8	3	35	▲ 5	
	総合学科	40	31	▲ 9	20	32	1.60	22	18	1.2	0.67	11	7	8	7	40	0
鳥羽	計	40	31	▲ 9	20	32	1.60	22	18	12	0.67	11	7	8	7	40	0
	普通	40	18	▲ 22	20	17	0.85	17	23	5	0.22	5	18	3	25	▲ 15	
	計	40	18	▲ 22	20	17	0.85	17	23	5	0.22	5	18	3	25	▲ 15	
水 産	海洋・機関	40	29	▲ 11	20	35	1.75	22	18	0.72	13	5	0	0	35	5	
	水産資源	40	13	▲ 27	20	15	0.75	15	25	0	0.00	0	25	0	0	15	
	計	80	42	▲ 38	40	50	1.25	37	43	13	0.30	13	30	0	50	▲ 30	
伊勢志摩地域(全日制) 計		1,160	1,114	▲ 46	400	791	1.98	428	732	688	0.94	664	68	21	18	1,110	▲ 50

※「12月時点の進学希望者数」は、県内の国公私立中学校3年生を対象に実施した調査結果による。

(2) 定時制

学校名	学科・コース	入学定員	R6.12時点の進学希望者数			前期選抜等(下段: 特別選抜)			後期選抜			再募集					
			定員との差	募集人数	志願者数	志願倍率	合格内定者数	募集入数	志願者数	志願倍率	合格者数	募集定員	志願者数	合格者数	入学者数	欠員	
伊勢まなび	(午前の部)	普通	40	25	▲ 15	(特別) 4	26	1.30	24	16	3	0.19	3	13	0	27	▲ 13
	(午後の部)	普通	40	16	▲ 24	(特別) 4	20	0.85	17	23	4	0.17	4	19	1	22	▲ 18
	もつくり工学(夜間部)	40	3	▲ 37	(特別) 4	3	0.15	3	37	1	0.03	1	36	0	4	▲ 36	
計		120	44	▲ 76	72	49	—	44	76	8	0.11	8	68	1	1	53	▲ 67

※「12月時点の進学希望者数」は、県内の国公私立中学校3年生を対象に実施した調査結果による。

2 令和6年3月卒・現高2

(1) 全日制

学校名	学科・コース	入学定員	R5.12時点の進学希望者数	前期選抜等				後期選抜				再募集				入学者数	欠員
				募集人数	志願者数	合格率	合格者数	募集定員	志願者数	合格率	合格者数	募集定員	志願者数	合格率	合格者数		
明 野	生産科学	40	42	20	45	2.25	22	18	19	1.06	17	1	0	0	40	0	
	食品科学	40	38	▲ 2	20	38	1.90	22	18	0.67	12	6	2	2	36	▲ 4	
	生活教養	40	47	7	20	45	2.25	22	18	1.11	18	0	0	0	40	0	
	福祉	40	29	▲ 11	20	28	1.40	22	18	0.67	14	4	1	1	37	▲ 3	
宇治山田	普通	200	194	▲ 6	60	176	2.93	66	134	1.27	0.95	127	7	5	4	197	▲ 3
	国際科学コース	200	194	▲ 6	60	176	2.93	66	134	1.27	0.95	127	7	5	4	197	▲ 3
伊 勢	普通	240	219	▲ 21	-	-	-	240	208	0.87	240	0	0	0	240	0	
	国際	40	56	16	-	-	-	40	79	1.98	40	0	0	0	41	0	
宇治山田商業	商業	80	87	7	40	87	2.18	44	36	43	1.19	36	0	0	80	0	
	情報処理	40	45	5	20	41	2.05	22	18	23	1.28	18	0	0	0	41	0
	国際	40	39	▲ 1	20	38	1.90	22	18	0.94	18	0	0	0	40	0	
	計	160	171	11	80	166	2.08	88	72	83	1.15	72	0	0	0	161	0
伊勢工業	機械	80	76	▲ 4	40	70	1.75	44	36	30	0.83	30	6	3	77	▲ 3	
	電気	40	19	▲ 21	20	19	0.95	19	21	5	0.24	4	17	2	26	▲ 14	
	建築	40	25	▲ 15	20	28	1.40	22	18	10	0.56	10	8	2	34	▲ 6	
	計	160	120	▲ 40	80	117	1.46	85	75	45	0.60	44	31	7	7	137	▲ 23
(度会校舎)	普通	40	13	▲ 27	20	9	0.45	9	31	4	0.13	4	27	0	0	13	▲ 27
	総合学科	40	44	4	20	44	2.20	22	18	20	1.11	18	0	0	0	40	0
鳥 羽	普通	40	44	4	20	44	2.20	22	18	20	1.11	18	0	0	0	40	0
	計	40	31	▲ 9	20	33	1.65	22	18	10	0.56	10	8	1	1	33	▲ 7
志 摩	海洋・機関	40	32	▲ 8	20	33	1.65	22	18	10	0.56	10	8	1	1	33	▲ 7
	水産資源	40	23	▲ 17	20	23	1.15	21	19	5	0.26	5	14	1	1	37	▲ 3
伊勢志摩地域(全日制) 計	計	80	55	▲ 25	40	56	1.40	43	37	19	0.51	19	18	1	1	63	▲ 17
	伊勢志摩地域(全日制) 計	1,160	1,059	▲ 101	400	757	1.89	423	737	658	0.89	635	102	17	16	1,078	▲ 84

※入学者数と合格者数の合計が一致しないことがあるのは、追検査による合格者等を含むため

(2) 定時制

学校名	学科・コース	入学定員	R5.12時点の進学希望者数	前期選抜等(下段: 特別選抜)				後期選抜				再募集				入学者数	欠員
				募集人数	志願者数	合格率	合格者数	募集定員	志願者数	合格率	合格者数	募集定員	志願者数	合格率	合格者数		
伊勢まなび	(午前の部)	40	27	▲ 13	(特別) 20	1	0.25	21	19	0.53	10	9	1	1	32	▲ 8	
	(午後の部)	40	18	▲ 22	(特別) 20	20	1.00	20	5	0.25	5	15	2	2	27	▲ 13	
	ものづくり工学(夜間部)	40	4	▲ 36	(特別) 20	2	0.10	2	38	0	0.00	0	38	1	1	3	▲ 37
	計	120	49	▲ 71	72	48	-	43	77	0.19	15	62	4	4	62	▲ 58	

※「12月時点の進学希望者数」は、県内の国公立中学校3年生を対象に実施した調査結果による。

伊勢志摩地域 中学校卒業者数の推移と予測(含社会増減)

再掲資料 6

		R 4.3 卒業	R 5.3 卒業	R 6.3 卒業	R 7.3 卒業	R 8.3 現中3	R 9.3 現中2	R 10.3 現中1	R 11.3 現小6	R 12.3 現小5	R 13.3 現小4	R 14.3 現小3	R 15.3 現小2	R 16.3 現小1
伊勢市	卒業者数	1,082	1,126	975	1,029	996	1,019	958	891	942	899	864	782	863
	前年度対比		44	-151	54	-33	23	-61	-67	51	-43	-35	-82	81
	R7.3対比					-33	-10	-71	-138	-87	-130	-165	-247	-166
度会郡	卒業者数	315	337	311	321	297	293	272	276	273	288	244	259	231
	前年度対比		22	-26	10	-24	-4	-21	-4	-3	-3	-44	15	-28
	R7.3対比					-24	-28	-49	-45	-48	-33	-77	-62	-90
鳥羽市	卒業者数	143	122	106	119	109	98	99	110	88	101	85	94	86
	前年度対比		-21	-16	13	-10	-11	1	11	-22	13	-16	9	-8
	R7.3対比					-10	-21	-20	-9	-31	-18	-34	-25	-33
志摩市	卒業者数	339	340	335	284	316	301	242	287	280	251	246	211	203
	前年度対比		1	-5	-51	32	-15	-59	45	-7	-29	-5	-35	-8
	R7.3対比					32	17	-42	3	-4	-33	-38	-73	-81
小計	卒業者数	1,879	1,925	1,727	1,753	1,718	1,711	1,571	1,564	1,583	1,539	1,439	1,346	1,383
	前年度対比		46	-198	26	-35	-7	-140	-7	19	-44	-100	-93	37
	R7.3対比					-35	-42	-182	-189	-170	-214	-314	-407	-370
県内合計	卒業者数	16,244	16,055	15,891	15,718	15,517	15,261	14,807	14,345	14,044	14,030	13,399	12,753	12,408
	前年度対比		-189	-164	-173	-201	-256	-454	-462	-301	-14	-631	-646	-345
	R7.3対比					-201	-457	-911	-1,373	-1,674	-1,319	-2,965	-3,310	

【県立高校（全日制）】

伊勢市内	入学定員 (学年級数)	960 (24)	1,000 (25)	960 (24)	960 (24)	920 (23)
伊勢市以外	欠員数※ (学年級数)	1 320 (8)	3 320 (8)	33 200 (5)	0 200 (5)	315 -
	欠員数※ (学年級数)	129 (32)	117 (33)	51 (29)	50 (29)	230 -
小計	入学定員 (学年級数)	1,280 (32)	1,320 (33)	1,160 (29)	1,160 (29)	1,120 (28)
県内合計	入学定員 (学年級数)	10,880 (274)	10,640 (268)	10,440 (263)	10,240 (258)	10,000 (252)
	欠員数※	334	342	225	185	-

※欠員数は、学科・コースごとの欠員のみを積み上げた数値

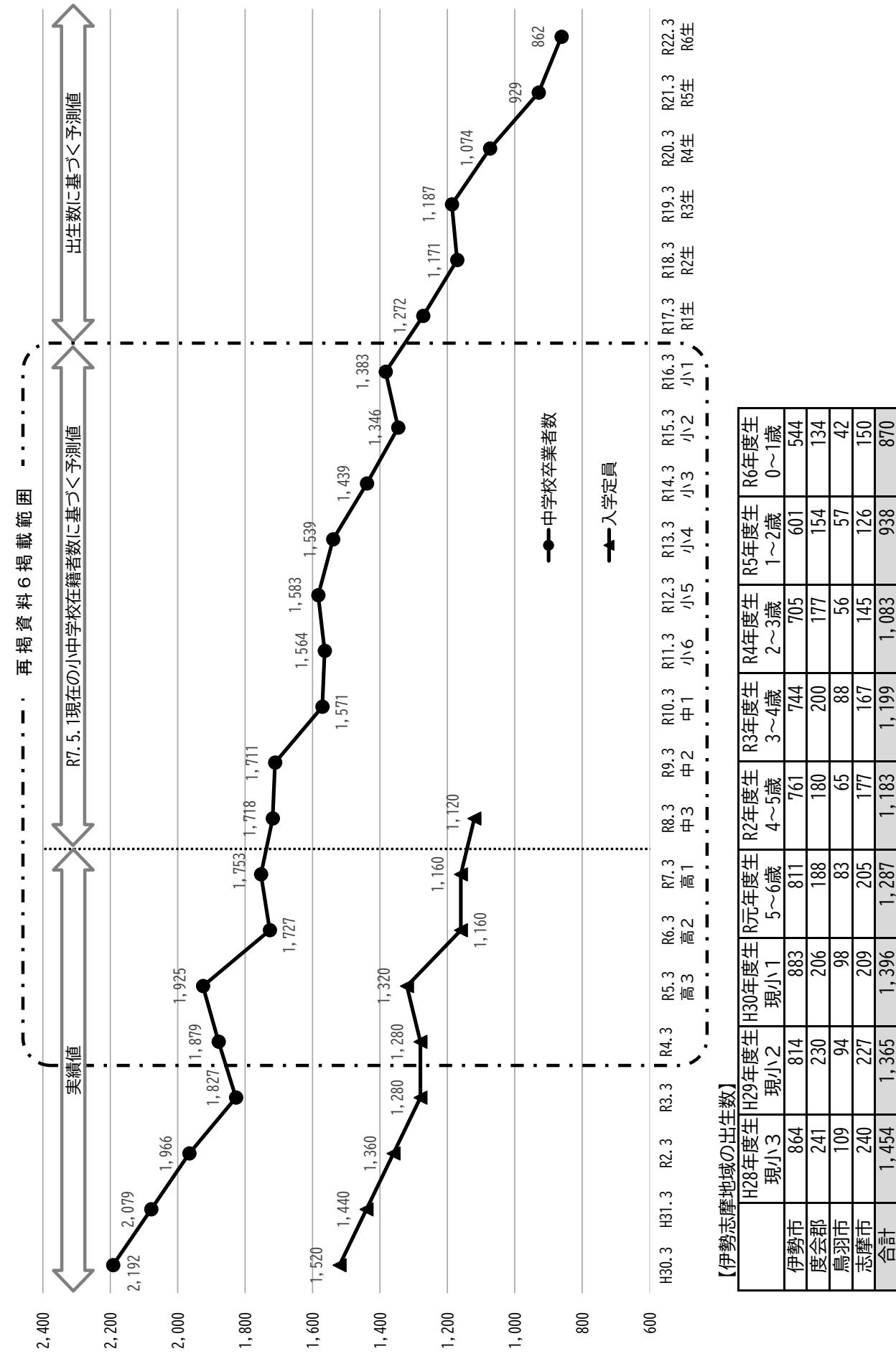
【私立高校（全日制）、高専】

皇學館	入学定員	315	315	315	315	315
伊勢学園	入学定員	353	327	288	321	-
	入学定員	230	230	230	230	230
鳥羽商船	入学定員	120	120	120	140	140
3校の欠員数（合計）	△82	△71	△5	15	-	※欠員数の（△）は、定員を超えた入学者数を示す。
(参考)	入学定員	540	535	530	530	530
三重	入学者数	584	563	468	530	-

※令和7年度入学者数は、各校ホームページの記載人数を転記
※令和7年度入学者数は、三重高校ホームページの記載人数を転記

再掲資料 7

伊勢志摩地域の中学校卒業者数と県立高等学校入学定員（全日制）の推移と予測



伊勢志摩地域および松阪地域の高等学校等の学科・コースについて(令和8年度)

再掲資料8

	学校名	大学科	入学定員					
県立	宇治山田高校	普通科	160	普通科	普通科	普通科	普通科	国際科学コース
県立	伊勢高校	普通科	280	普通科	普通科	普通科	普通科	国際科学コース
県立	伊勢工業高校	専門学科	160	機械科	機械科	電気科	建築科	
県立	宇治山田商業高校	専門学科	160	商業科	商業科	情報処理科	国際科	
県立	明野高校	専門学科	160	1,120	生産科学科	食品科学科	生活教養科	福祉科
県立	南伊勢高校度会校舎	普通科	40	普通科				
県立	鳥羽高校	総合学科	40	普通科				
県立	志摩高校	普通科	40	普通科				
県立	水産高校	専門学科	80	海洋・機関科	水産資源科			
私立	皇學館高校	普通科	315	545	普通科:315人、進学コース・特別進学コース	普通科:230人、特別進学コース・選択コース(情報ビジネス・生活デザイン・進学)・看護医療コース		
私立	伊勢学園高校	普通科	230					

○定期制課程 県立 伊勢まなび高校 120人 普通科:午前の部40人、午後の部40人

○通信制課程 私立 英心高校(伊勢本校) 80人 普通科:(全日型、水曜、土曜の各コース)

○通信制課程 私立 代々木高校 1,000人 普通科:(通信コース、通信一般コース等)

○高等専門学校 国立 鳥羽商船高等学校 140人 商船学科(40)、情報機械システム工学科(100)

(参考)

	学校名	大学科	入学定員					
県立	松阪高校	普通科	280	普通科	普通科	普通科	普通科	理数科
県立	松阪工業高校	専門学科	200	工業化学科	機械科	繊維デザイン科	自動車科	電気工学科
県立	松阪商業高校	専門学科	160	1,000	総合ビジネス科	総合ビジネス科	国際ビジネス科	
県立	飯南高校	総合学科	80	郷土・環境、介護福祉、コンピュータ総合進学				
県立	相可高校	普通科	200	普通科	普通科	生産経営科	環境創造科	食物調理科
県立	昂学園高校	総合学科	80	地域探究、総合スポーツ、美術工芸、生活福祉、環境技術				
私立	三重高校	普通科	530	530	普通科(進学コース、特進コース、六年制)	普通科(進学コース、特進コース、六年制)	普通科(進学コース、特進コース、六年制)	530

※大学科の普通科には普通科系専門学科を含む

(令和4年度伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会で実施・集計)

伊勢志摩地域の県立高校に関するアンケート結果について

1 中学生を対象としたアンケート結果

A 学びについて

(高校を選ぶとき、学習面で重視すること)

- 「進学や就職など多様な進路に応じた学習の選択がされること」(45.1%)、「就職につながる専門的な知識や技能、資格が習得できる」(29.3%)、「大学進学につながる学力向上を目指した学習ができる」(25.6%) の順となっている。

(高校を選ぶとき、学校生活全般で重視すること)

- 「文化祭や体育祭などの学校行事」(66.5%)、「確かな学力を身につける授業」(65.5%)に続いて、「多くの友だちや先生と出会える」(55.9%)、「通学のしやすさ」(54.2%)を重視している。

(高校に期待する教育)

- 「自分の将来を選択する力が身につく教育」(75.3%)をはじめ、「社会性や協調性、コミュニケーション能力が身につく教育」(64.3%)、「基本的な知識が身につく教育」(58.6%)、「社会人として必要なマナーや礼儀・責任感が身につく教育」(58.3%)を期待している。

B 学級の規模について

- 選んだ生徒が多い順に「3～4学級」(49.0%)、「1～2学級」(25.8%)、「5～6学級」(21.1%)、「7学級以上」(4.0%)となっている。
- 生徒の多くが学びたい学級規模に関係なく、選んだ理由を「友だちや先輩、先生など、多くの出会いがあると思うこと」(50.5%)としている。

C 通学時間について

- 選んだ生徒が多い順に「31～60分」(52.7%)、「30分以内」(26.3%)、「61～90分」(16.6%)、「91～120分」(2.8%)、「121分以上」(1.6%)となっている。

D 高校での地域の学習について

- 選んだ生徒が多い順に「別の分野について」(37.2%)、「高校が所在する市町」(31.9%)、「伊勢志摩地域全体」(30.3%)となっている。

E 将来生活する場所について

- 「まだ、決まっていない。わからない」(34.8%)が最も多く、続いて、「県外」(23.5%)、「一度は地元を離れても、いつかは戻りたい」(16.4%)、「地元」(13.5%)となっている。

2 保護者を対象としたアンケート結果

A 学びについて

(高校を選ぶとき、学習面で重視すること)

- ・「進学や就職など多様な進路に応じた学習の選択ができること」(63.0%)に続いて、「大学進学につながる学力向上を目指した学習ができる」(21.4%)、「就職につながる専門的な知識や技能、資格が習得できる」(14.4%)となっている。

(高校を選ぶとき、学校生活全般で重視すること)

- ・「確かな学力を身につける授業」(67.8%)をはじめ、「通学のしやすさ」(61.9%)、「多くの友だちや先生と出会える」(57.2%)、「一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな教育」(51.1%)を重視している。

(高校に期待する教育)

- ・「社会性や協調性、コミュニケーション能力を育む教育」(73.5%)をはじめ、「進路選択の力を育む教育」(63.6%)、「社会人として必要なマナーや礼儀・責任感が身につけることができる教育」(63.3%)、「主体的に学び続ける力を育む教育」(59.0%)を期待している。

B 15年先の伊勢志摩地域の県立高校のあり方について

- ・今後の伊勢志摩地域の高校について、「一定の統合は避けられない」(52.2%)が最も多く、続いて、「統合は避けるべき」(29.3%)、「必要な統合を進めるべき」(12.2%)となっている。

C 通学時間について

- ・選んだ保護者が多い順に、「31～60分」(62.9%)、「30分以内」(19.1%)、「61～90分」(13.6%)、「91～120分」(1.9%)、「121分以上」(0.4%)となっている。

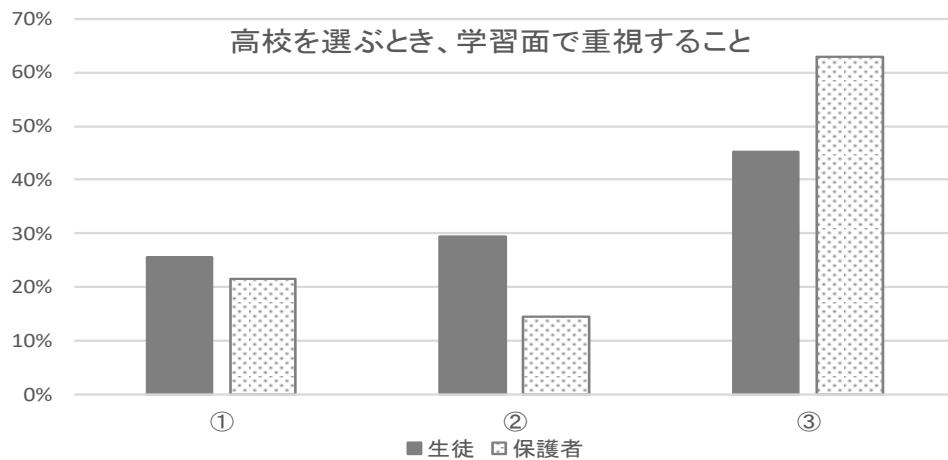
D 将来生活する場所について

- ・「本人の希望次第」(68.7%)が最も多く、続いて、「地元」(11.2%)、「一度は地元を離れても、いつかは戻ってほしい」(8.1%)となっている。

3 生徒と保護者の回答の比較 (中学生 1,538 人、保護者 1,391 人)

(1) 高校を選ぶとき学習面で重視すること (回答は 1 つ、() は各回答者数に対する割合)

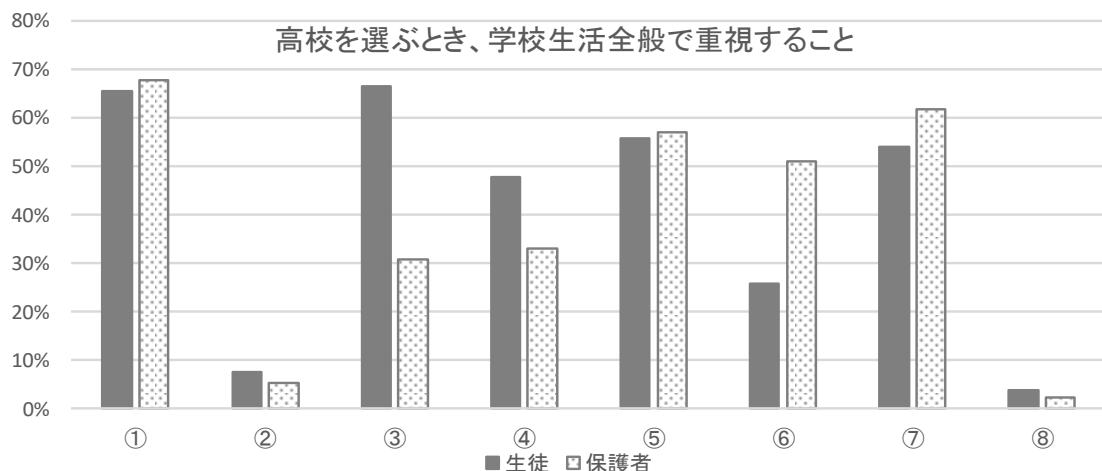
項目	生徒	保護者
①大学進学につながる学力向上を目指した学習ができる	393 (25.6%)	298 (21.4%)
②就職につながる専門的な知識や技能、資格が取得できる	451 (29.3%)	200 (14.4%)
③進学や就職など多様な進路に応じた学習を選択することができる	694 (45.1%)	876 (63.0%)



(2) 高校を選ぶとき学校生活全般で重視すること

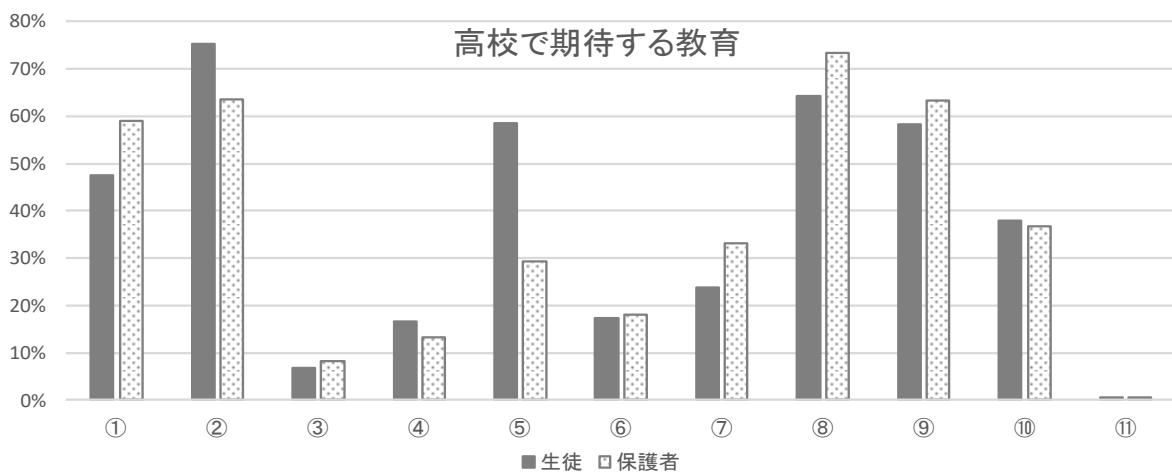
(回答は 4 つ以内、() は各回答者数に対する割合)

項目	生徒	保護者
①確かな学力を身につける授業が充実している	1007 (65.5%)	943 (67.8%)
②地域に密着した活動がある	117 (7.6%)	75 (5.4%)
③文化祭や体育祭などの学校行事が充実している	1023 (66.5%)	429 (30.8%)
④入りたい部活動がある	735 (47.8%)	460 (33.1%)
⑤多くの友だちや先生と出会うことが期待できる	859 (55.9%)	795 (57.2%)
⑥一人ひとりに目が行き届きやすく、きめ細かな教育が期待できる	398 (25.9%)	711 (51.1%)
⑦通学しやすい	833 (54.2%)	861 (61.9%)
⑧その他	59 (3.8%)	32 (2.3%)



(3) 入学する高校に期待する教育 (回答は5つ以内、()は各回答者数に対する割合)

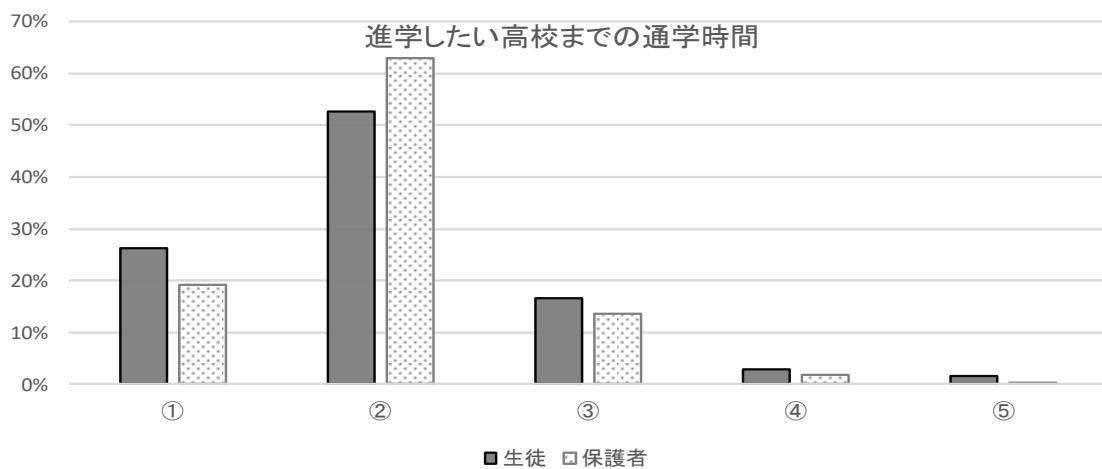
項目	生徒	保護者
①自ら学び続ける力が身につく教育	731 (47.5%)	820 (59.0%)
②自分の将来を選択する力が身につく教育	1158 (75.3%)	885 (63.6%)
③地域について学ぶ教育	103 (6.7%)	116 (8.3%)
④人権に対する意識が高まる教育	257 (16.7%)	185 (13.3%)
⑤基本的な知識が身につく教育	901 (58.6%)	408 (29.3%)
⑥ICTを積極的に活用する教育	267 (17.4%)	252 (18.1%)
⑦広く世界で活躍できる力が身につく教育	366 (23.8%)	462 (33.2%)
⑧社会性や協調性、コミュニケーション能力が身につく教育	989 (64.3%)	1022 (73.5%)
⑨社会人として必要なマナーや礼儀・責任感が身につく教育	897 (58.3%)	880 (63.3%)
⑩特別活動や部活動などを通じて豊かな人間性が身につく教育	584 (38.0%)	511 (36.7%)
⑪その他	10 (0.7%)	9 (0.6%)



(4) 進学したい高校までの通学時間はどれくらいまでなら可能か。

(回答は1つ、()は各回答者数に対する割合)

項目	生徒	保護者
①30分以内	405 (26.3%)	266 (19.1%)
②31~60分	811 (52.7%)	875 (62.9%)
③61~90分	255 (16.6%)	189 (13.6%)
④91~120分	43 (2.8%)	27 (1.9%)
⑤121分以上	24 (1.6%)	6 (0.4%)



4 アンケート結果より

(1) 学び等、高校で重視したいこと

(ア) 中学生、保護者の少なくとも一方の割合が 60%以上の項目（3選択肢から 1つ選択）

①進学や就職など多様な進路に応じた学習を選択できる教育

中学生 694 人 (45.1%) 保護者 876 (63.0%)

(イ) 中学生、保護者の少なくとも一方の割合が 50%以上の項目

（8選択肢から 4つまで選択、11選択肢から 5つまで選択）

①自分の将来を選択する力が身につく教育

中学生 1158 人 (75.3%) 保護者 885 人 (63.6%)

②社会性や協調性、コミュニケーション能力を育む教育

中学生 989 人 (64.3%) 保護者 1022 人 (73.5%)

③確かな学力を身につける授業が充実している

中学生 1007 人 (65.5%) 保護者 943 人 (67.8%)

④文化祭や体育祭などの学校行事が充実している

中学生 1023 人 (66.5%) 保護者 429 人 (30.8%)

⑤社会人として必要なマナーや礼儀・責任感が身につく教育

中学生 897 人 (58.3%) 保護者 880 人 (63.3%)

⑥通学しやすい

中学生 833 人 (54.2%) 保護者 861 人 (61.9%)

※通学時間は、中学生と保護者とも「31～60分」が最も多く選ばれている

⑦自ら学び続ける力が身につく教育

中学生 731 人 (47.5%) 保護者 820 人 (59.0%)

⑧基本的な知識が身につく教育

中学生 901 人 (58.6%) 保護者 408 人 (29.3%)

⑨多くの友だちや先生と出会うことが期待できる

中学生 859 人 (55.9%) 保護者 795 人 (57.2%)

⑩一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな教育が期待できる

中学生 398 人 (25.9%) 保護者 711 人 (51.1%)

※地域学習について

・高校を選ぶときに重視すること：地域に密着した活動がある

中学生 117 人 (7.6%) 保護者 75 人 (5.4%)

・期待する教育：地域について学ぶ教育

中学生 103 人 (6.7%) 保護者 116 人 (8.3%)

・高校での地域の学習について

中学生：進学した高校が所在する市町について学んでみたい 490 人 (31.9%)

：伊勢志摩地域全体のことについて学んでみたい 466 人 (30.3%)

(2) 配置について

(ア) 中学生が望む高校の学級規模とその理由

・規模 ①3～4学級 754 人 (49.0%) ②1～2学級 397 人 (25.8%)

③5～6学級 325 人 (21.1%) ④7学級以上 62 人 (4.0%)

・理由 ①多くの出会い 776 人 (50.5%) ②関係の深まり 381 人 (24.8%)

③多様な選択 216 人 (14.0%) ④一人ひとりへのサポート 124 人 (8.1%)

⑤その他 41 人 (2.7%)

(イ) 保護者が考える 15 年先の伊勢志摩地域における高校のあり方の方向性

①一定の統合は避けられない 726 人 (52.2%)

②統合は避けるべき 408 人 (29.3%)

③必要な統合を進めるべき 170 人 (12.2%)

※無回答 87 人 (6.3%)

令和5年度の協議（今後の学びと配置のあり方について）

（これまでの経緯）

- 本協議会は、平成17年に、伊勢志摩地域における高等学校の特色化・魅力化を図り、生徒にとって魅力ある学習環境を整備するため設置されました。
- 本協議会では、令和4年度に協議のまとめを策定し、令和6年度の生徒減への対応の考え方を取りまとめました。令和5年度についても、引き続き、県立高等学校活性化計画（R4～R8）（以下、「計画」という。）に基づき、伊勢志摩地域の高等学校の学びと配置のあり方についての協議を継続しているところです。

（基本的な考え方）

- 令和4年度の当地域の出生数は、前年度と比較して116人少ない1,083人となり、この子どもたちが高校へ入学する令和20年度の当地域の1学年の総学級数は、令和6年度入学生の29学級から11～14学級程度減少し、15～18学級程度となることが見込まれます。
- 当協議会は、少子化が一層進む中、当地域の高校の活性化について、令和4年度にまとめた「現在の9校の配置のままでは当地域の高校生に必要な学びを提供していくことが難しいことから、統合も含めた活性化が必要」、「専門学科の学びの選択肢や普通科の一定規模の維持を基本として対応する」をふまえ、スケジュール感に注意して協議を重ねていきます。

（専門学科・総合学科について）

- 伊勢志摩地域は自然豊かで歴史も古く、県内でも有数の観光地を有しています。また、水産業をはじめ、地域特有の産業も多く存在しています。
- こうしたことも背景にして、伊勢志摩地域には多様な職業系専門学科（農業、工業、商業、家庭、福祉、水産）が設置されており、卒業生の多くがこの地域の産業を支えているため、各学科・コースの学びの選択肢はできる限り維持することが望ましいと考えます。
- 一方、今後の中学校卒業者数の減少を考えると、地域内だけでは多様な学びの選択肢の維持が難しくなることから、生徒の地域間の移動状況もふまえ、これまでより広い地域を視野に入れた議論が必要になると考えます。また、この場合、生徒や保護者の通学に関する負担が増すことが想定されるため、支援などの議論も必要となります。
- また、令和6年度には当地域の総合学科が1学級となることから、総合学科の特色である「幅広い選択科目の中から生徒が自分で科目を選択し学ぶことが可能であり、生徒の個性を生かした主体的な学習を重視する」との視点から、当地域における総合学科のあり方や活性化について議論が必要です。

（普通科について）

- 当地域では、地域全体に普通科が配置され、それぞれが特色のある多様な学びを提供し、生徒の進学や就職のニーズに応えてきました。
- 少子化の進行により、それぞれの学校の規模も徐々に小さくなり、やむを得ず募集停止となる学校もあるなど、地域の高校の維持が難しい状況となっています。しかし、今後も、進学や就職など多様なニーズに応える普通科の学びの機会を確保していく必要があります。

- このことについては、引き続き、通信制高校のサテライト教室の設置や遠隔授業の活用などの方策を幅広に議論することが必要です。
- 一方、普通科高校には、国公立大学や難関私立大学への進学ニーズに応える役割もあり、こうした普通科高校が当地域に少なくとも1校は必要です。
- 進学ニーズに応える普通科高校は、各教科に配置できる教員数を勘案すると、英語、数学、国語において各学年を複数の教員が担当し、理科、地理歴史・公民において専門性の高い教員を各科目に配置できる1学年8学級規模が望ましいところです。また、地域全体の学級数が減少する中、やむを得ず学校規模を縮小する場合も、1学年6学級を下回らないよう一定規模を維持することが望ましいと考えます。

(部活動)

- 地域の生徒や保護者のニーズが高い部活動については、各学校において特色ある活動を展開していますが、県立高校の部活動の設置数や生徒の部活動への参加状況は、学校規模と相関関係が見られるため、部活動の活性化の視点から1学年4学級以上が望ましいと考えます。

(1学年1～2学級の小規模校について)

- 当地域ではこれまで、高校の小規模化が進む中、特に地域に所在する学校を中心に、関係する市町が学校と連携して生徒の学びを支えてきました。
- 前計画（H29～R3）では、地方創生の考え方をふまえ、高校と地域や産業界が協力した取組を進める中、特に、小規模校においては学校ごとに市町関係者や地元産業界などで構成する協議会を設置し、学校の活性化に取り組みました。
- 対象となる学校では、地域の協力を得て「地域を学びの場とした学校独自の協働的な学習」に取り組むことにより、生徒の地域への理解が深まりました。また、継続的な習熟度別の学習指導等による基礎学力の定着や地域の支援を受けた学習等を通じ、生徒の進路実現が図られました。
- 一方で、地域の中学校卒業者の大幅な減少の影響もあり、地元への就職者数は減少するとともに、小規模校全体の入学者数と定員充足率は活性化取組前よりも低下しました。
- 現在、当地域では、現計画（R4～R8）においても、引き続き、学校と地域が連携して小規模校における学びの充実に取り組んでいますが、地域の少子化はより進行しており、学校規模はより小さくなるだけでなく、やむを得ず募集停止となった校舎もあります。
- また、令和6年度に1学年1学級となる学校では、教科指導の充実や部活動の活性化がより厳しくなることが想定されますが、地域全体で学校を支えながら、小規模校のメリットを生かして、できる限り子どもたちに魅力ある学びを提供していく必要があります。
- 令和4年度の当協議会のまとめでは、「令和6年度の生徒減については、学級減で対応することが望ましい」としましたが、今後も続く段階的な生徒減に対しては、令和6年度に1学年1学級となる3校の役割や教育実践を注視しながら、引き続き、地域全体の活性化を協議する中で、小規模校の統合も含めた今後のあり方について議論を進める必要があります。
- なお、現計画では、他の高校では担うことが難しい県内唯一の学科を有する水産高校について、引き続き、活性化に取り組むとされています。令和6年3月には新実習船「しろちどり」が竣工されますが、一方で、令和元年度以降5年連続して欠員を生じており、特に地域外からの入学者の増加に向けたさらなる取組が必要です。

(今後の協議の進め方)

- 今後も当地域では少子化が進行し、令和8年度に1学級、令和10年度に3～4学級、令和13～15年度に3～5学級程度の減が見込まれています。これらの学級減に対し、高校の統合を含めた対応を行う場合は、中学生の進路選択への影響等を勘案すると、遅くともその3年前までには、教育委員会において方針を定めることが求められます。そのため、令和10年度の学級減への対応については令和7年度までに、令和13～15年度の学級減への対応については令和10年度までに、当協議会としての方向性をまとめる必要があります。
- なお、専門高校間の統合など、大規模な施設・設備の整備が必要となる統合については、工期の確保はもとより、予算やそれにつながる学校のコンセプトの議論に係る時間も必要となるため、遅くとも4年前までには結論を出す必要があります。
- これからも現計画のもと、当協議会では引き続き、「現在の9校の配置のままでは当地域の高校生に必要な学びを提供していくことが難しいことから、統合も含めた活性化が必要」、「専門学科の学びの選択肢や普通科の一定規模の維持を基本として対応する」を基本として協議を進めることとします。
- また、少子化の進行と現在の高校の状況をふまえ、学校個別ではなく、伊勢志摩地域全体を見渡して、「伊勢市内の高校の再編」と「小規模校のあり方」の2つの視点から高校の活性化について協議を進めるとともに、現在の協議が令和9年度からの次期計画につながることも意識しながら、これからの中学生たちのための伊勢志摩地域の学びと配置のあり方について協議を重ねていきます。

次期「県立高等学校活性化計画」の策定に向けた動きについて

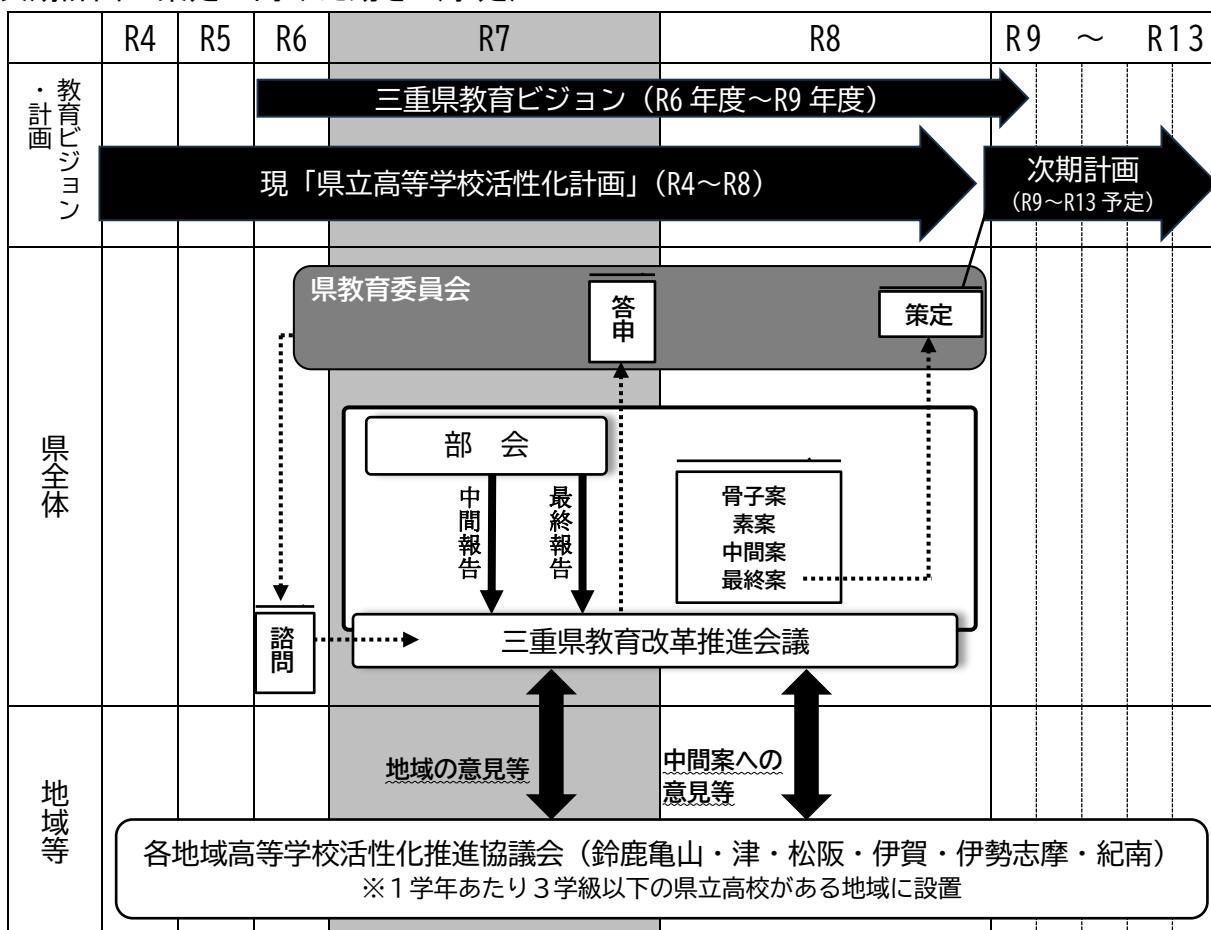
1 三重県教育改革推進会議における審議

現行の県立高等学校活性化計画（以下、「計画」という。）は令和4年から令和8年が計画期間となっていることから、県教育委員会の附属機関である三重県教育改革推進会議（以下「推進会議」という。）の審議を経て、次期計画を令和8年度末に策定します。

令和7年3月に開催された推進会議では、県教育委員会教育長から次期計画の策定に係る県立高校の学び並びに規模及び配置のあり方について諮問され、令和8年3月31日までに報告されることとなっています。

また、その審議については、推進会議に設置された専門的な調査研究を行うための部会（「県立高等学校の在り方調査研究部会」）において、今年度集中的に審議されることとなっています。

2 次期計画の策定に向けた動き（予定）



※令和7年度の推進会議（全体会）は2回程度、部会は4回程度の開催見込み

市町別の中学校卒業者進学先の状況

伊勢市の状況

	卒業者数	伊勢志摩地域												地域内合計①	松阪地域県立	津地域県立	その他県立	県内私立・高専、県外	地域外合計②	その他合計③	合計(①+②+③)			
		宇治山田	伊勢	伊勢工業	宇治山田商業	明野	鳥羽	志摩	水産	南伊勢度会校舎	県立高校小計	私立高校・国立高専	皇學館	伊勢学園	鳥羽商船	私立・高専小計								
R7.3卒	1,029	92	187	87	74	79	10	1	2	12	544	152	79	32	263	807	51	12	3	75	141	81	1,029	
		519 50.4%				1.0%		3	1.2%			231	22.4%			3.1%	25.6%	78.4%	5.0%	1.2%	0.3%	7.3%	13.7%	7.9%
R6.3卒	975	81	174	63	76	70	12	0	3	2	481	129	108	34	271	752	73	14	8	40	135	88	975	100%
		464 47.6%				1.2%		3	0.3%			237	24.3%			3.5%	27.8%	77.1%	7.5%	1.4%	0.8%	4.1%	13.8%	9.0%

鳥羽市の状況

	卒業者数	伊勢志摩地域												地域内合計①	松阪地域県立	津地域県立	その他県立	県内私立・高専、県外	地域外合計②	その他合計③	合計(①+②+③)			
		宇治山田	伊勢	伊勢工業	宇治山田商業	明野	鳥羽	志摩	水産	南伊勢度会校舎	県立高校小計	私立高校・国立高専	皇學館	伊勢学園	鳥羽商船	私立・高専小計								
R7.3卒	119	6	8	14	6	16	12	2	3	0	67	15	10	11	36	103	4	0	0	1	5	11	119	100%
		50 42.0%				10.1%		5	4.2%			25	21.0%			9.2%	30.3%	86.6%	3.4%	0%	0%	0.8%	4.2%	9.2%
R6.3卒	106	13	10	11	6	7	14	2	2	0	65	7	5	9	21	86	3	1	3	7	14	6	106	100%
		47 44.3%				13.2%		4	3.8%			12	11.3%			8.5%	19.8%	81.1%	2.8%	0.9%	2.8%	6.6%	13.2%	5.7%

志摩市の状況

	卒業者数	伊勢志摩地域												地域内合計①	松阪地域県立	津地域県立	その他県立	県内私立・高専、県外	地域外合計②	その他合計③	合計(①+②+③)			
		宇治山田	伊勢	伊勢工業	宇治山田商業	明野	鳥羽	志摩	水産	南伊勢度会校舎	県立高校小計	私立高校・国立高専	皇學館	伊勢学園	鳥羽商船	私立・高専小計								
R7.3卒	284	28	33	19	31	13	5	22	28	0	179	29	15	18	62	241	9	1	2	13	25	18	284	100%
		124 43.7%				1.8%		50	17.6%			44	15.5%			6.3%	21.8%	84.9%	3.2%	0.4%	0.7%	4.6%	8.8%	6.3%
R6.3卒	335	38	42	20	18	20	2	27	41	0	208	37	25	16	78	286	7	2	5	13	27	22	335	100%
		138 41.2%				0.6%		68	20.3%			62	18.5%			4.8%	23.3%	85.4%	2.1%	0.6%	1.5%	3.9%	8.1%	6.6%

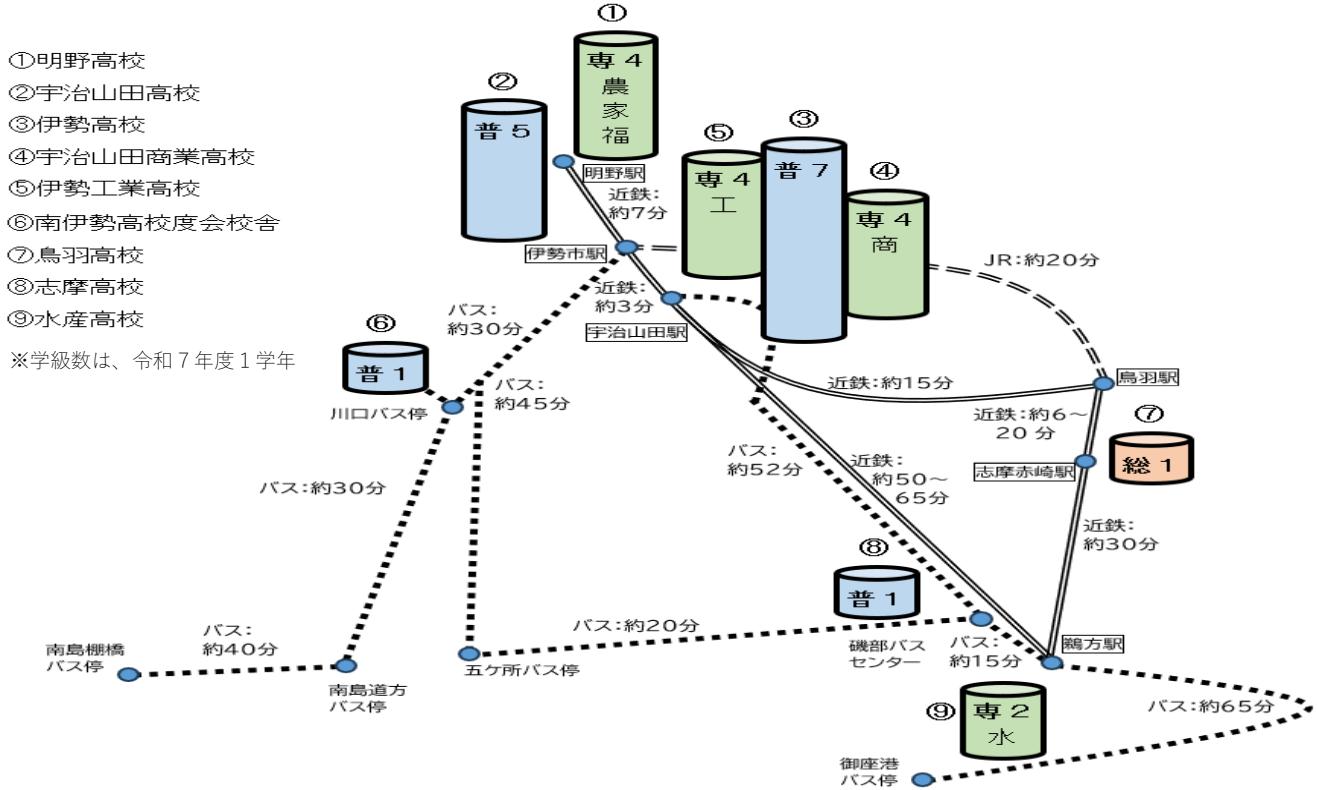
玉城町の状況

	卒業者数	伊勢志摩地域												地域内合計①	松阪地域県立	津地域県立	その他県立	県内私立・高専、県外	地域外合計②	その他合計③	合計(①+②+③)			
		宇治山田	伊勢	伊勢工業	宇治山田商業	明野	鳥羽	志摩	水産	南伊勢度会校舎	県立高校小計	私立高校・国立高専	皇學館	伊勢学園	鳥羽商船	私立・高専小計								
R7.3卒	157	19	13	10	8	6	2	0	0	9	67	7	12	5	24	91	28	7	1	17	53	13	157	100%
		56 35.7%				1.3%		0	0%			19	12.1%			3.2%	15.3%	84.9%	17.8%	4.5%	0.6%	10.8%	33.8%	8.3%
R6.3卒	145	19	8	16	9	12	2	0	1	5	72	7	9	2	18	90	27	6	1	7	41	14	145	100%
		64 44.1%				1.4%		1	0.7%			16	11.0%			1.4%	12.4%	82.1%	18.6%	4.1%	0.7%	4.8%	28.3%	9.7%

度会町の状況

	卒業者数	伊勢志摩地域												地域内合計①	松阪地域県立	津地域県立	その他県立	県内私立・高専、県外	地域外合計②	その他合計③	合計(①+②+③)			
		宇治山田	伊勢	伊勢工業	宇治山田商業	明野	鳥羽	志摩	水産	南伊勢度会校舎	県立高校小計	私立高校・国立高専	皇學館	伊勢学園	鳥羽商船	私立・高専小計								
R7.3卒	69	4	15	5	9	2	0	0	0	7	42	6	5	3	14	56	6	0	0	2	8	5	69	100%
		35 50.7%				0%		0	0%			11	15.9%			4.3%	20.3%	81.2%	8.7%	0%	0%	2.9%	11.6%	7.2%
R6.3卒	68	2	10	8	8	6	0	0	0	4	38	8	2	2	12	50	5	0	0	5	10	8	68	100%
		34 50.0%				0%		7	13.5%			10	14.7%			2.9%	17.6%	83.5%	7.4%	0%	0%</			

(1)高校配置図



(2)通学方法別生徒数と割合

R7.5.1 学校基本調査より

通学方法 \ 学校名	宇治山田	伊勢	伊勢工業	宇治山田 商業	明野	南伊勢 度会校舎	鳥羽	志摩	水産	合計
徒歩のみ	28	10	7	4	8	5	13	10	14	99
	4.8%	1.2%	1.6%	0.8%	1.7%	6.4%	9.6%	11.0%	9.0%	3.0%
自転車のみ	222	473	229	180	134	28	15	3	53	1,337
	37.8%	56.7%	51.6%	34.9%	28.8%	35.9%	11.0%	3.3%	34.2%	40.4%
JRのみ	47	2	8	28	0	0	1	0	0	86
	8.0%	0.2%	1.8%	5.4%	0%	0%	0.7%	0%	0%	2.6%
私鉄のみ	149	27	29	0	127	0	42	42	0	416
	25.3%	3.2%	6.5%	0%	27.3%	0%	30.9%	46.2%	0%	12.6%
バスのみ	34	36	10	49	0	24	5	22	48	228
	5.8%	4.3%	2.3%	9.5%	0%	30.8%	3.7%	24.2%	31.0%	6.9%
船のみ	0	1	0	0	0	0	1	0	1	3
	0%	0.1%	0%	0%	0%	0%	0.7%	0%	0.6%	0.1%
JRと	私鉄	1	0	0	20	22	0	9	0	52
		0.2%	0%	0%	3.9%	4.7%	0%	6.6%	0%	1.6%
	バス	1	6	0	1	0	1	0	0	9
		0.2%	0.7%	0%	0.2%	0%	1.3%	0%	0%	0.3%
	自転車	20	53	19	60	2	0	0	0	154
		3.4%	6.4%	4.3%	11.6%	0.4%	0%	0%	0%	4.7%
私鉄と	バス	10	13	3	10	38	1	0	2	88
		1.7%	1.6%	0.7%	1.9%	8.2%	1.3%	0%	2.2%	7.1%
	船	1	0	0	0	1	0	0	1	5
		0.2%	0%	0%	0%	0.2%	0%	0%	1.1%	0.2%
	自転車	70	182	112	139	123	0	38	0	664
		11.9%	21.8%	25.2%	26.9%	26.4%	0%	27.9%	0%	20.1%
バスと	船	0	0	0	0	0	0	3	0	3
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	2.2%	0%	0.1%
	自転車	3	22	24	8	0	4	0	8	69
船と		0.5%	2.6%	5.4%	1.6%	0%	5.1%	0%	0%	5.2%
	自転車	0	2	0	0	0	0	1	0	3
		0%	0.2%	0%	0%	0%	0.7%	0%	0%	0.1%
その他 (車送迎、3つ以上の交通機関等)	2	7	3	17	11	15	8	11	15	89
		0.3%	0.8%	0.7%	3.3%	2.4%	19.2%	5.9%	12.1%	9.7%
合計	588	834	444	516	466	78	136	91	155	3,308

(3)通学費用別生徒数と割合

R7. 5. 1 学校基本調査より

費用\学校名	宇治山田	伊勢	伊勢工業	宇治山田 商業	明野	南伊勢 度会校舎	鳥羽	志摩	水産	合計	積み上げ
不要	258	485	242	184	152	48	33	24	76	1,502	1,502
	43.9%	58.2%	54.5%	35.7%	32.6%	61.5%	24.3%	26.4%	49.0%	45.4%	45.4%
3,000円以内	33	24	15	14	26	0	1	3	0	116	1,618
	5.6%	2.9%	3.4%	2.7%	5.6%	0%	0.7%	3.3%	0%	3.5%	48.9%
5,000円以内	126	131	68	92	153	4	15	37	0	626	2,244
	21.4%	15.7%	15.3%	17.8%	32.8%	5.1%	11.0%	40.7%	0%	18.9%	67.8%
7,000円以内	108	103	73	110	71	1	74	4	0	544	2,788
	18.4%	12.4%	16.4%	21.3%	15.2%	1.3%	54.4%	4.4%	0%	16.4%	84.3%
9,000円以内	15	22	7	23	16	4	5	1	3	96	2,884
	2.6%	2.6%	1.6%	4.5%	3.4%	5.1%	3.7%	1.1%	1.9%	2.9%	87.2%
11,000円以内	8	10	6	12	8	3	4	2	21	74	2,958
	1.4%	1.2%	1.4%	2.3%	1.7%	3.8%	2.9%	2.2%	13.5%	2.2%	89.4%
13,000円以内	17	23	19	22	10	6	3	7	6	113	3,071
	2.9%	2.8%	4.3%	4.3%	2.1%	7.7%	2.2%	7.7%	3.9%	3.4%	92.8%
15,000円以内	19	26	10	30	12	6	0	11	14	128	3,199
	3.2%	3.1%	2.3%	5.8%	2.6%	7.7%	0%	12.1%	9.0%	3.9%	96.7%
15,001円以上	4	10	4	29	18	6	1	2	35	109	3,308
	0.7%	1.2%	0.9%	5.6%	3.9%	7.7%	0.7%	2.2%	22.6%	3.3%	100%
合計	588	834	444	516	466	78	136	91	155	3,308	3,308

※通学費用は1か月あたりの費用

(4)通学時間別生徒数と割合

R7. 5. 1 学校基本調査より

時間\学校名	宇治山田	伊勢	伊勢工業	宇治山田 商業	明野	南伊勢 度会校舎	鳥羽	志摩	水産	合計	積み上げ
15分以内	50	183	103	74	53	24	19	15	47	568	568
	8.5%	21.9%	23.2%	14.3%	11.4%	30.8%	14.0%	16.5%	30.3%	17.2%	17.2%
30分以内	198	264	149	132	158	23	22	30	36	1,012	1,580
	33.7%	31.7%	33.6%	25.6%	33.9%	29.5%	16.2%	33.0%	23.2%	30.6%	47.8%
45分以内	135	171	60	86	100	16	21	28	10	627	2,207
	23.0%	20.5%	13.5%	16.7%	21.5%	20.5%	15.4%	30.8%	6.5%	19.0%	66.7%
60分以内	89	100	63	92	74	11	55	15	33	532	2,739
	15.1%	12.0%	14.2%	17.8%	15.9%	14.1%	40.4%	16.5%	21.3%	16.1%	82.8%
90分以内	88	100	60	118	69	1	19	3	12	470	3,209
	15.0%	12.0%	13.5%	22.9%	14.8%	1.3%	14.0%	3.3%	7.7%	14.2%	97.0%
120分以内	26	15	8	12	8	3	0	0	8	80	3,289
	4.4%	1.8%	1.8%	2.3%	1.7%	3.8%	0%	0%	5.2%	2.4%	99.4%
121分以上	2	1	1	2	4	0	0	0	9	19	3,308
	0.3%	0.1%	0.2%	0.4%	0.9%	0%	0%	0%	5.8%	0.6%	100%
合計	588	834	444	516	466	78	136	91	155	3,308	3,308

※通学時間は片道の所要時間

(5)自宅外通学生徒数

R7. 5. 1 学校基本調査より

学校名\費用	宇治山田	伊勢	伊勢工業	宇治山田 商業	明野	南伊勢 度会校舎	鳥羽	志摩	水産	合計
下宿	0	3	2	12	0	0	0	0	36	53
寄宿舎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	3	2	12	0	0	0	0	36	53

伊勢志摩地域の県立高等学校（全日制）のスクール・ポリシー

（1）普通科・普通科系専門学科校

①グラデュエーション・ポリシー（育みたい資質・能力、生徒の姿）

高校名	内容
宇治山田	<ul style="list-style-type: none"> ○志を持って、自ら学び、判断し、行動することができる生徒 ○豊かな人間性を備え、自らを律し、他者を思いやり、他者と協力することができる生徒 ○目標に向かって、失敗を恐れず努力し、諦めることなく挑戦を継続することができる生徒
伊勢	<ul style="list-style-type: none"> ○高い志を抱いて、社会に貢献できる人を育てます。 ○自己の実現のために、自ら学び、考え、行動し、粘り強く努力する人を育てます。 ○知的探究心にあふれ、情操豊かで創造性に富んだ人を育てます。
南伊勢	<ul style="list-style-type: none"> ○自立に向け、基本的生活習慣と基礎学力を身につけた生徒 ○自分の夢を明確にし、希望する進路に向け、自ら努力し続ける生徒 ○自他の命を尊重し、差別をなくす実践力と高い自己肯定感を有する生徒
志摩	<ul style="list-style-type: none"> ○地域に貢献したいという意欲を持つ生徒 ○自律・協調・敬愛の精神を持って社会で活躍できる生徒

②カリキュラム・ポリシー（高校での教育活動）

高校名	内容
宇治山田	<ul style="list-style-type: none"> ○各教科や総合的な探究の時間、学校行事や生徒会活動など、学校生活全般にわたって、生徒が主体となって考え、協力して取り組む活動を充実し、学力の向上とともに、主体性、社会性、協調性などの育成に取り組みます。 ○国公立大学をはじめとした生徒の進路希望が実現できるよう、基礎・基本を大切にし、授業や指導方法の研究に取り組み、学校全体で計画的な指導を進めます。 ○生徒が安心して学校生活を送れるよう、教育相談の充実に取り組むとともに、人権教育やホームルーム活動、学校行事等を通じて、自他を大切にする心や行動力の育成に取り組みます。
伊勢	<ul style="list-style-type: none"> ○授業内容や指導方法について研究を進め、主体的・対話的で深い学びにつながる、よりよい教育を提供します。 ○教育環境の変化に的確に対応するとともに、個々の生徒の希望に応じることができる教育課程を編成し、PDCAサイクルによる継続的な検証・改善に努めます。 ○第Ⅲ期のスーパー・サイエンス・ハイスクールとして、科学的リテラシーを持ち、持続可能な地域社会に貢献する人材を育成するカリキュラムの検証・改善を進めるとともに、取組を深化させていきます。 ○マナーやルールを重視し、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会性の陶冶を図ります。 ○特別教育活動を活性化させ、生徒の自主的な活動を促進することを通して、社会性とリーダーシップを育成します。 ○生徒の学ぶ力の育成に努めるとともに、多様な学習機会を提供し、生徒の進路実現につなげます。 ○生命を大切にし、人権を尊重する教育を進めるとともに、ウェルビーイングを求め、たくましく生きる力を育成します。
南伊勢	<ul style="list-style-type: none"> ○自他の命を尊重し、社会的自立に向けて基礎基本の学力と差別をなくす実践力を育む。 ○高い自己肯定感を持ち、自ら考え適切に行動できる力を育む。 ○個々の能力・適性に応じて、自らの将来を主体的に考え、希望進路の実現に向けて積極的に取り組む生徒を育成する。 ○基本的な生活習慣や社会的規律・礼儀をしっかりと身につけ、心身ともに健康な生徒を育成する。 ○校舎を取り巻く自然環境や文化を活かした教育活動を行う。
志摩	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎学力を向上させ、生徒の進路希望に応じた学習指導を行うとともに、創造的・論理的に考える力を育む学びを進め、より高度な学力獲得を目指す生徒にも応える体制を整える。 ○社会生活を営む上で欠かせない社会常識と行動力を身につけた、即戦力となる人材を育てる。 ○地域探究学習「志摩学」や地域と関わる活動を通して、地域の実情を理解し、地域と連携し活性化に取り組む姿勢を育てる。

③アドミッション・ポリシー（入学時に求める生徒の姿）

高校名	内容
宇治山田	<ul style="list-style-type: none"> ○自ら考え、学ぶことができる生徒 ○他者を思いやり、他者と協力することができる生徒 ○目標に向かって、挑戦し続けることができる生徒
伊勢	<ul style="list-style-type: none"> ○将来の進路実現に向けて、高い目標を掲げて学業に真摯に取り組む生徒 ○自主的・自律的に行動できる生徒 ○他者との関わりを大切にし、互いの個性を認め合いながら、協働して物事に取り組むことができる生徒
南伊勢	<ul style="list-style-type: none"> ○目的意識を明確にもち、自己実現に向けて意欲的に取り組める者 ○体験学習など、地域に根ざした教育活動に積極的に取り組む意欲のある者 ○スポーツ・文化活動やボランティア活動または生徒会活動に積極的に取り組む意欲のある者
志摩	<ul style="list-style-type: none"> ○目標を持って学習する意欲ある生徒 ○興味関心を持った課題について探究しようとする生徒 ○基本的な生活習慣と思いやりの心が身についた生徒

(2) 専門学科校

①グラデュエーション・ポリシー（育みたい資質・能力、生徒の姿）

高校名	内容
伊勢工業	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的生活習慣を身につけ、社会常識のある明るく素直な生徒（ひとづくり） ○産業界から求められる技術・技能習得の意欲あふれる生徒（ものづくり） ○自他の命を尊重し、差別をなくす実践力と高い自己肯定感を有する生徒
宇治山田商業	<ul style="list-style-type: none"> ○自他を尊重し、規範意識を大切にする人間性豊かな生徒 ○自己実現に向けて主体的・創造的・積極的に挑戦し、活力ある姿勢や態度を有する生徒 ○探究的な学習、地域や国際交流活動等を通して「企画力」「調整力」「実践力」「突破力」「地域への貢献力」等を備えている生徒
明野	<ul style="list-style-type: none"> ○各分野の資格等を積極的に習得し、専門知識や技能を生かし、自立した社会人として地域に貢献し、地域を支え、地域とともに生きていくことができる生徒 ○様々な課題を自分事として捉え、主体的に行動し、自己実現を図ることができる生徒 ○学ぶ楽しさを知り、社会的・職業的自立に向けた取組ができる生徒 ○社会人としてのマナーを身につけるとともにによりよく生きる力を自ら育むことのできる生徒
水産	<ul style="list-style-type: none"> ○水産・海洋に関する知識・技術の習得を通じ、水産・海洋関連分野のリーダーとして活躍できる生徒 ○特に、以下に示す「3つの力」を身につけた生徒 ①考え方抜く力 ②チームで働く力 ③前に踏み出す力

②カリキュラム・ポリシー（高校での教育活動）

高校名	内容
伊勢工業	<ul style="list-style-type: none"> ○「ものづくり」が好きで、学校での学習や地域での体験を基に自信が成長できる、生徒から望まれる学校づくりを行う。その「ものづくり」をとおして生徒が主体的に新しい資質・能力を学ぶ成長できる場を設ける。 ○分かりやすく、きめ細かい授業を展開するとともに、学校生活全般を通して基礎・基本の学力および産業人としての専門的な能力の定着を図る。 ○基本的生活習慣と身だしなみや挨拶などの社会常識を身につけた、明るく素直で、自他の命を尊重し、差別をなくす実践力と高い自己肯定感を有する生徒を育成する。
宇治山田商業	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の自主性、主体性、創造性を育み、積極的に自己を高めていくため、I C T機器の効果的な活用による学習活動の工夫や学校行事、部活動の振興等を通じ、人間性豊かで活力に満ちた学校生活の実現に努める。 ○地域との連携を通じた教育活動を充実させ、生徒の課題解決力や探究力、自己表現力の向上や、キャリア教育の更なる充実を図るとともに、生徒の希望・適性に応じた進路実現につなげ、地域社会の発展に貢献できる自立した人材を輩出する商業高校を目指す。
明野	<ul style="list-style-type: none"> ○各分野において実践的・体験的な学習活動を通して、社会を支え産業の発展を担う職業人を育成する。 ○生徒一人ひとりの個性の発見とよさや可能性の伸長と社会的資質・能力の発達を支え、生徒が自己の幸福追求と社会に受け入れられる自己実現を支える。
水産	<ul style="list-style-type: none"> ○水産・海洋関連分野で活躍できる知識と技術を習得するため、水産科の専門科目を適切に配置し、3年間をとおして系統的・組織的な教育活動を行う。 ○専門的な学習の基盤となる基礎学力の定着を図るために、少人数による授業を実施するとともに、到達度テストや個別最適な課題等により基礎学力の向上を図る。 ○地域や大学と連携した授業や実習、探究活動、インターンシップ等を積極的に実施し、キャリア教育の充実を図る。 ○実践的な教育を通じて専門的な知識と技術を習得し、水産、海洋、船舶、食品加工、養殖等の各分野で活躍するための資格取得を推奨し支援する。

③アドミッション・ポリシー（入学時に求める生徒の姿）

高校名	内容
伊勢工業	<ul style="list-style-type: none"> ○「ものづくり」をとおして自己実現したいと考えている生徒 ○伊勢志摩を中心とした地域で活躍し、地域のリーダーになりたいと考える生徒 ○自他の命を尊重し、学業、部活動や校外活動に取り組みたい生徒
宇治山田商業	<ul style="list-style-type: none"> ○学習意欲が高く、入学後も目標達成に向けた努力を継続できる生徒 ○探究活動に意欲的に取り組むことができる生徒 ○スポーツ・文化活動やボランティア活動、生徒会活動等に意欲をもって取り組む姿勢を有する生徒 ○学科の特性を生かして、大学進学や就職等の進路希望を実現しようとする生徒
明野	<p>[生産科学科、食品科学科、生活教養科、福祉科共通]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基本的生活習慣及び社会性が身についている者 ○スポーツや文化活動等に優れており、入学後も継続して活動する者 (生産科学科) ○将来、農業自営者となり、地域のリーダーを目指す者 ○動植物の飼育・栽培に興味・関心があり、積極的に実習に取り組むことができる者 ○農業に関連した職業や農業関連学科への進学を目指す者 ○資格取得や検定合格に積極的に取り組むことができる者 (食品科学科) ○将来、食品関連会社で製造や研究に取り組む技術者を目指す者 ○食の安全への意識が強く、清潔な身なりや整理整頓ができる者 ○与えられた仕事を最後までやり遂げる忍耐力と責任感がある者 ○資格取得や検定合格に積極的に取り組むことができる者 (生活教養科) ○衣・食に興味・関心があり、高校生活にしっかりととした目的・目標をもつ者 ○将来、専門性を生かした就職や進学を目指す者 ○全ての教科に対して、真面目かつ意欲的で、資格取得に積極的に取り組むことができる者 (福祉科) ○福祉に興味・関心があり、意欲的に学習に取り組むことができる者 ○将来、福祉分野で活躍しようという希望をもっている者 ○資格取得に積極的に取り組むことができる
水産	<ul style="list-style-type: none"> ○規範意識や基本的生活習慣が身についている生徒 ○水産・海洋関連分野に興味・関心を有する生徒 ○他者と協働しながら、何事に対しても粘り強く、取り組むことができる生徒 ○向上心を持ち、新たなことに挑戦しようとする意欲を持つ生徒

(3) 総合学科校

①グラデュエーション・ポリシー（育みたい資質・能力、生徒の姿）

高校名	内容
鳥羽	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の中で生き生きと活躍し、自信と誇りを持って成長する鳥羽高生 ○進路実現に向け、基礎的・総合的な学力を身につけた鳥羽高生 ○社会的・職業的自立に向け、必要な規範意識と態度を身につけた鳥羽高生 ○これからの中でも活躍するための「7つの力」を身につけた鳥羽高生 <ul style="list-style-type: none"> ①行動力 ②思考力 ③コミュニケーション能力 ④創造力 ⑤表現力 ⑥自己肯定力 ⑦自己管理力

②カリキュラム・ポリシー（高校での教育活動）

高校名	内容
鳥羽	<ul style="list-style-type: none"> ○地域社会で貢献できる人材育成を目指し、体験的な教育活動を推進 ○生徒一人ひとりの進路実現を目指し、基礎・基本の定着を図る取組を推進 ○自己の生き方・在り方の認識を目指し、自他の理解や良好な人間関係形成するための人権意識を高める学習活動を推進 <p><具体的な教育活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・探究活動（産業社会と人間、総合的な探究の時間、鳥羽学）、系列授業、自由選択科目、就業体験学習（観光・福祉）等 ・少人数教育、基礎学力診断、基礎力勉強会 等 ・人権 LHR、部活動、交流、講演 等

③アドミッション・ポリシー（入学時に求める生徒の姿）

高校名	内容
鳥羽	<ul style="list-style-type: none"> ○総合学科の学習内容に興味・関心があり、意欲を持って学習に取り組める生徒 ○学習を通して、積極的に進路実現を目指す生徒 ○部活動またはボランティア活動等について、積極的に活動する意欲のある生徒 ○規範意識や基本的生活習慣を身につけ、学校生活に積極的に取り組める生徒 ○将来、地域社会で活躍し、地域に貢献しようとする意欲のある生徒

学校教育法施行規則 第百三条の二

高等学校は、当該高等学校、全日制の課程、定時制の課程若しくは通信制の課程又は学科ごとに、次に掲げる方針を定め、公表するものとする。

一 高等学校学習指導要領に定めるところにより育成を目指す資質・能力に関する方針

二 教育課程の編成及び実施に関する方針

三 入学者の受入れに関する方針

3つの方針（スクール・ポリシー）

①育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）

各高等学校に期待される社会的役割等に基づき、生徒の卒業後の姿を見据えて、学校教育活動を通じて生徒にどのような資質・能力を育成することを目指すのかを定める基本的な方針となるもの

②教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

育成を目指す資質・能力に関する方針を達成するために、どのような教育課程を編成し、実施し、学習評価を行うのかを定める基本的な方針となるもの

③入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

各高等学校に期待される社会的役割等や、育成を目指す資質・能力に関する方針と教育課程の編成及び実施に関する方針に基づく教育内容等を踏まえ、入学時に期待される生徒像を示す基本的な方針となるもの

伊勢志摩地域の県立高校(全日制)卒業生の進路状況

再掲資料15

(1)令和7年3月卒

学校名	学科	四年制大学	短大等	専門学校等	就職	その他	卒業者数
明野	農業 家庭 福祉	24	16	48	66	3	157
		15.3%	10.2%	30.6%	42.0%	1.9%	100%
宇治山田	普通	170	8	16	1	2	197
		86.3%	4.1%	8.1%	0.5%	1.0%	100%
伊勢	普通	242	8	3	2	19	274
		88.3%	2.9%	1.1%	0.7%	6.9%	100%
宇治山田商	商業	89	4	22	43	0	158
		56.3%	2.5%	13.9%	27.2%	0%	100%
伊勢工	工業	15	0	16	118	0	149
		10.1%	0%	10.7%	79.2%	0%	100%
南伊勢 (度会・南勢)	普通	3	1	3	24	0	31
		9.7%	3.2%	9.7%	77.4%	0%	100%
鳥羽	総合	1	4	8	22	2	37
		2.7%	10.8%	21.6%	59.5%	5.4%	100%
志摩	普通	9	3	13	20	2	47
		19.1%	6.4%	27.7%	42.6%	4.3%	100%
水産	水産	4	9	8	28	0	49
		8.2%	18.4%	16.3%	57.1%	0%	100%

普通科計	424	20	35	47	23	549
	77.2%	3.6%	6.4%	8.6%	4.2%	100%
専門学科計	132	29	94	255	3	513
	25.7%	5.7%	18.3%	49.7%	0.6%	100%
総合学科計	1	4	8	22	2	37
	2.7%	10.8%	21.6%	59.5%	5.4%	100%
合計	557	53	137	324	28	1,099
	50.7%	4.8%	12.5%	29.5%	2.5%	100%

※上段は人数、下段は卒業者数に対する割合を表す

※「四年制大学」は大学校を含む

※「短大等」は専攻科、高専を含む

※「その他」は進学待機を含む

(2)令和6年3月卒

学校名	学科	四年制大学	短大等	専門学校等	就職	その他	卒業者数
明野	農業 家庭 福祉	12	15	37	81	5	150
		8.0%	10.0%	24.7%	54.0%	3.3%	100%
宇治山田	普通	169	7	11	2	4	193
		87.6%	3.6%	5.7%	1.0%	2.1%	100%
伊勢	普通	239	1	4	1	28	273
		87.5%	0.4%	1.5%	0.4%	10.3%	100%
宇治山田商	商業	73	7	31	40	3	154
		47.4%	4.5%	20.1%	26.0%	1.9%	100%
伊勢工	工業	18	4	21	113	1	157
		11.5%	2.5%	13.4%	72.0%	0.6%	100%
南伊勢 (度会・南勢)	普通	4	1	6	21	3	35
		11.4%	2.9%	17.1%	60.0%	8.6%	100%
鳥羽	総合	3	4	8	24	0	39
		7.7%	10.3%	20.5%	61.5%	0%	100%
志摩	普通	6	4	17	22	0	49
		12.2%	8.2%	34.7%	44.9%	0%	100%
水産	水産	2	17	8	29	2	58
		3.4%	29.3%	13.8%	50.0%	3.4%	100%

普通科計	418	13	38	46	35	550
	76.0%	2.4%	6.9%	8.4%	6.4%	100%
専門学科計	105	43	97	263	11	519
		20.2%	8.3%	18.7%	50.7%	2.1%
総合学科計	3	4	8	24	0	39
		7.7%	10.3%	20.5%	61.5%	0%
合計	526	60	143	333	46	1,108
		47.5%	5.4%	12.9%	30.1%	4.2%

学校規模と教育環境について

1 教員数

(1) 教職員定数

各学校に配置される教職員定数の標準は、法律により、入学定員（÷学級数）に応じて定められています。

全日制普通科の場合

1学年あたりの学級数	1学級	2学級	3学級	4学級	5学級	6学級	7学級	8学級
教員数(人)	8	15	23	29	35	43	48	52
差		7	8	6	6	8	5	4

※ 校長、教頭、養護教諭、実習助手、事務職員を除く

※ 上記以外に学科による加算や加配教員、非常勤講師等の配置があります

※ あくまで標準であり、すべての学校がこの人数に一致するわけではありません

(2) 学級数別の各教科担当教員の配置シミュレーション（全日制普通科）

1学年あたりの学級数	1学級	2学級	3学級	4学級	5学級	6学級	7学級	8学級
計	8	15	23	29	35	43	48	52
国語	1	2	4	5	5	7	7	8
数学	2	3	4	5	6	7	8	9
英語	2	3	4	5	6	7	8	9
社会	1	2	3	4	5	6	6	7
理科	1	2	3	4	5	6	7	8
保育	1	2	3	3	4	5	6	6
芸術	0	1	1	1	2	3	3	3
家庭	0	0	1	1	1	1	1	1
情報	0	0	0	1	1	1	1	1

※ 1～7学級の教科別教員数については、県内の8学級の高校の教科別教員数を参考に算出

※ 国語・数学・英語は学年あたりの配置人数が1、2、3人で色分け

※ 社会は地歴科と公民科から構成しており、地歴科では日本史、世界史、地理を専門とする教員を5人、公民科では1人を配置できる6人と、地歴3人、公民1人を配置できる4人で色分け

※ 理科は物理、化学、生物を専門とする教員が2人ずつ配置できる6人と、1人ずつの3人で色分け

※ 保健体育は学年あたりの人数が2人、1人で色分け

※ 芸術は音楽、美術、書道の教員が1人ずつ配置できる3人で色分け

※ この表はシミュレーションであり、実際は学校ごとに教育課程などが異なるため、教員数の合計、教科別の人�数ともこのとおりとは限りません。

2 部活動

R4学校規模別部活動設置状況（男子）マネージャー含む

第1学年学級数				1	2	3	4	5	6	7	8
学校数				2	7	2	9	12	7	8	7
No	競技・種目	設置 学校数	設置 割合								
1	硬式野球	53	98.1%	1,393	2	7	2	8	12	7	8
2	バスケットボール	47	87.0%	918	1	6	2	8	10	5	8
3	陸上競技	46	85.2%	824	2	4	2	7	10	6	8
4	卓球	42	77.8%	682	1	4	2	5	10	5	8
5	バドミントン	41	75.9%	1,130	0	6	0	6	11	4	7
6	サッカー	39	72.2%	1,515	0	2	2	5	10	5	8
7	テニス	34	63.0%	513	0	2	2	4	8	4	8
8	バレーボール	33	61.1%	627	1	2	0	5	7	4	7
9	ソフトテニス	31	57.4%	518	1	4	0	6	5	4	5
10	剣道	27	50.0%	177	0	0	1	4	5	5	5
11	ハンドボール	20	37.0%	472	0	0	0	1	4	4	5
12	柔道	20	37.0%	146	1	1	0	2	8	1	3
13	弓道	19	35.2%	348	0	0	1	4	5	3	5
14	山岳（ワング・フォーゲル）	12	22.2%	148	0	0	0	2	1	2	3
15	ラグビー	10	18.5%	207	0	0	0	1	3	1	2
16	水泳	10	18.5%	87	0	0	0	3	1	0	2
17	ダンス	9	16.7%	39	0	0	0	0	4	1	2
18	レスリング	7	13.0%	53	0	1	0	1	4	0	1
19	軟式野球	6	11.1%	104	0	0	0	0	1	1	2
20											
設置部活動の種類（～No. 19）				7	11	8	18	19	17	19	18
設置部活動の全種類				7	15	9	22	28	23	26	22

R4学校規模別部活動設置状況（女子）マネージャー含む

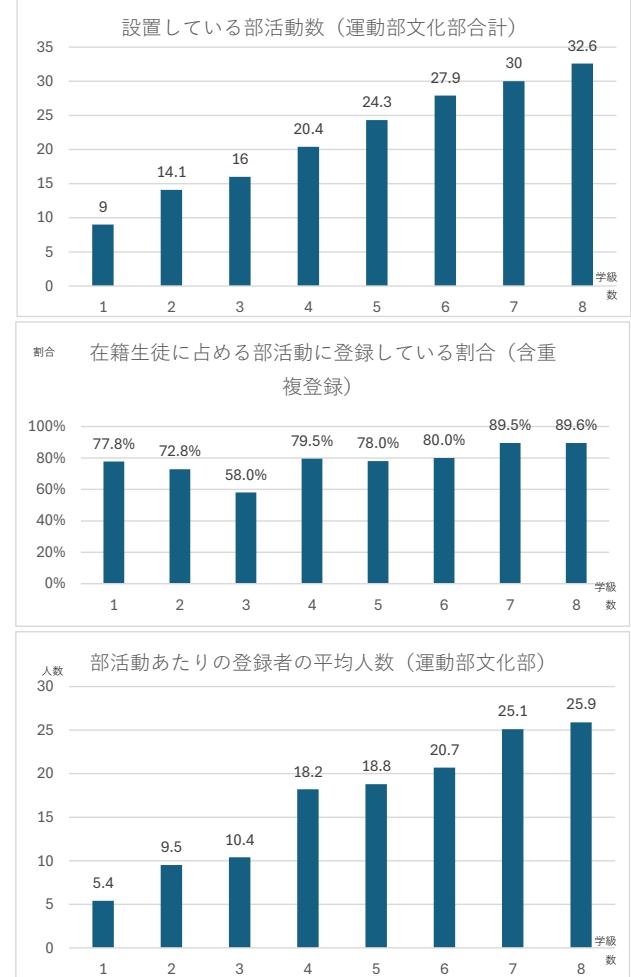
第1学年学級数				1	2	3	4	5	6	7	8
学校数				2	7	2	9	12	7	8	7
No	競技・種目	設置 学校数	設置 割合								
1	陸上競技	41	75.9%	486	1	3	1	6	9	6	8
2	バドミントン	39	72.2%	913	0	5	0	7	10	4	6
3	バスケットボール	39	72.2%	575	2	2	0	5	10	6	7
4	卓球	37	68.5%	334	0	1	2	5	8	6	8
5	バレーボール	34	63.0%	533	1	1	0	5	7	6	7
6	テニス	29	53.7%	316	0	1	1	3	5	6	7
7	ソフトテニス	28	51.9%	279	1	3	0	5	5	5	4
8	剣道	25	46.3%	135	0	0	1	2	4	5	6
9	弓道	17	31.5%	334	0	0	1	3	5	2	5
10	ハンドボール	15	27.8%	255	0	0	0	0	3	3	4
11	ダンス	12	22.2%	403	0	0	0	0	5	1	3
12	ソフトボール	12	22.2%	188	0	0	0	2	3	3	2
13	柔道	12	22.2%	38	0	0	0	1	4	2	1
14	水泳	10	18.5%	54	0	0	0	3	0	1	2
15	硬式野球	9	16.7%	24	0	1	0	1	3	3	0
16	サッカー	7	13.0%	93	0	1	0	0	2	0	1
17	体操	5	9.3%	66	0	0	0	1	1	0	1
18	空手道	5	9.3%	57	0	0	0	0	0	1	2
19	山岳（ワング・フォーゲル）	5	9.3%	31	0	0	0	1	1	0	0
20											
設置部活動の種類（～No. 19）				4	9	5	15	17	16	17	19
設置部活動の全種類				4	11	6	17	25	21	25	21

R4学校規模別部活動設置状況（文化部）

第1学年学級数				1	2	3	4	5	6	7	8
学校数				2	7	2	9	12	7	8	7
No	競技・種目	設置 学校数	設置 割合								
1	美術	47	87.0%	634	0	5	2	8	10	7	8
2	吹奏楽	44	81.5%	1,347	1	2	1	8	11	6	8
3	茶道	38	70.4%	536	1	4	2	5	8	5	7
4	書道	36	66.7%	351	0	2	2	5	9	5	6
5	放送	31	57.4%	308	0	1	0	4	9	5	7
6	写真	24	44.4%	586	0	2	0	4	6	6	4
7	家庭	19	35.2%	310	2	3	2	3	3	2	2
8	演劇	19	35.2%	214	0	0	0	2	5	3	4
9	ボランティア	13	24.1%	205	0	3	1	1	3	3	1
10	華道	13	24.1%	136	0	1	1	2	4	3	2
11	コンピュータ	11	20.4%	147	1	1	0	1	3	2	2
12	文芸	11	20.4%	106	0	1	0	0	0	2	3
13	アニメ・漫画	10	18.5%	197	0	1	0	0	3	2	3
14	人権サークル	10	18.5%	44	0	0	1	2	3	2	0
15	調理	9	16.7%	236	0	0	0	1	2	1	3
16	英語	9	16.7%	101	0	2	0	1	2	0	1
17	合唱	9	16.7%	64	0	0	0	1	2	1	4
18	新聞	8	14.8%	67	0	0	0	0	3	2	1
19	邦楽	7	13.0%	91	0	1	0	0	1	0	5
20	自然科学	7	13.0%	47	0	0	0	1	1	0	3
設置部活動の種類（～No. 20）				4	14	8	16	19	17	19	18
設置部活動の全種類				4	19	9	30	37	33	32	31

○1学年あたりの学級数別の部活動の状況

（令和4年度三重県学校体育・部活動実態調査より）



これまでの県立高等学校（全日制）の再編について

再掲資料17

（1）紀北地域の再編

実施年度	再編前（前年度）				再編後（実施年度）			備考
	学校名	科・コース	学級数 (入学定員)		学校名	科・コース	学級数 (入学定員)	
H13	尾鷲高校	普通科 商業科	5 2 7 (280人)		尾鷲高校	普通科 商業科 システム工学科	5 2 1 8 (320人)	
	尾鷲工業高校	機械設備システム科 電気情報システム科	1 1 2 (80人)					
H17	尾鷲高校	普通科 プログラシングコース 情報ビジネス科 システム工学科	3 1 2 7 (280人)		尾鷲高校	普通科 プログラシングコース 情報ビジネス科 システム工学科	3 1 2 1 8 (320人)	
	長島高校	普通科 福祉・情報コース	1 1 2 (80人)					
H20	尾鷲高校	普通科 プログラシングコース 情報ビジネス科 システム工学科	3 1 2 1 8 (320人)		尾鷲高校	普通科 プログラシングコース 情報ビジネス科 システム工学科	3 1 2 1 7 (280人)	
	尾鷲高校長島校	普通科	1					

（2）松阪地域の再編

実施年度	再編前（前年度）				再編後（実施年度）			備考
	学校名	科・コース	学級数 (入学定員)		学校名	科・コース	学級数 (入学定員)	
H21	相可高校	普通科 生産経済科 環境創造科 食物調理科	3 1 1 1 6 (240人)		相可高校	普通科 生産経済科 環境創造科 食物調理科	4 1 1 1 7 (280人)	
	宮川高校	普通科	2 (80人)					

（3）伊勢志摩地域の再編

実施年度	再編前（前年度）				再編後（実施年度）			備考
	学校名	科・コース	学級数 (入学定員)		学校名	科・コース	学級数 (入学定員)	
H16	南勢高校	普通科	2 (80人)		南伊勢高校南勢校舎	普通科	2 (80人)	
	度会高校	普通科	2 (80人)		度会校舎	普通科	2 (80人)	
H19	南島高校	普通科	1 (40人)		南島校舎	普通科	1 (40人)	
	南伊勢高校南勢校舎	普通科	2 (80人)		南伊勢高校南勢校舎	普通科	2 (80人)	
R6	度会校舎	普通科	2 (80人)		度会校舎	普通科	2 (80人)	
	南島校舎	普通科	1 (40人)		南伊勢高校南勢校舎			

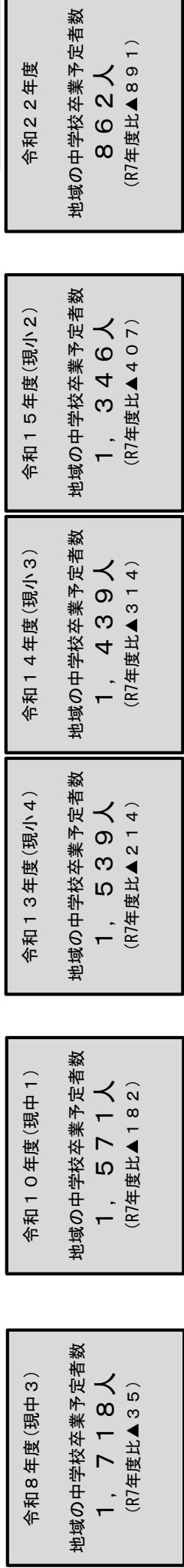
（4）伊賀地域の再編

実施年度	再編前（前年度）				再編後（実施年度）			備考	
	学校名	科・コース	学級数 (入学定員)		学校名	科・コース	学級数 (入学定員)		
H21	上野農業高校	食農科学科 景観園芸科	1 1 2 (80人)		伊賀白鳳高校	機械科 電子機械科 工芸デザイン科 生物資源科 フードシステム科 経営科 ヒューマンサービス科	1 1 1 1 1 1 1 7 (280人)	※前期選抜では学科別、後期選抜ではなく募集を実施	
	上野工業高校	機械科 住環境工学科 電子機械科	1 1 1 3 (120人)						
H28	上野商業高校	情報ビジネス科 健康生活科 福祉科 普通科	1 1 1 4 (160人)		名張青峰高校	普通科 文理探究コース	7 1 8 (320人)		
	名張西高校	普通科 情報科 英語科	2 1 1 4 (160人)						
	名張桔梗丘高校	普通科	4 (160人)						

（5）紀南地域の再編

実施年度	再編前（前年度）				再編後（実施年度）			備考
	学校名	科・コース	学級数 (入学定員)		学校名	科・コース	学級数 (入学定員)	
R7	木本高校	普通科 総合学科	3 1 4 (160人)		熊野青藍高校木本校舎	普通科 総合学科	3 1 4 (160人)	
	紀南高校	普通科	2 (80人)		紀南校舎	総合学科	1 (40人)	

令和22年度までの伊勢志摩地域の県立高等学校（全日制）の総学級数と当協議会の協議について



28学級

